

第五十二回 帝國議會 貴族院議事速記録第十三號

昭和二年二月十五日(火曜日)

午前十時十七分開議

議事日程 第十三號 昭和二年二月十五日

午前十時開議

第一 昭和二年度歳入歳出總豫算案並昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件

第三 保險業法中改正法律案(政府提出)

第四 土地收用法中改正法律案(政府提出)

第五 外國官廳ノ用地トシテ貸付スル國有財産ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

昨十四日常任委員長ヨリ左ノ如ク分科擔當委員並兼務委員ヲ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

豫算委員

男爵 東 郷 安 君

第一分科擔當委員

第五分科兼務委員

森 田 福 市 君

第三分科擔當委員

第一分科兼務委員

決算委員

第三分科擔當委員

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大藏省所管事務政府委員

大藏參與官 中 野 正 剛 君

本日第八部ニ於テ請願委員志村源太郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果大橋新太郎君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、本日、杉田定一君病氣ニ付キ豫算委員辭任ノ申出ガゴザイマシタ、許可スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第九部ニ於テ補闕選舉ヲ行ハレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 此際、諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、本日ハ議事ノ都合上議事日程ヲ變更シテ、日程第三、第四、第五ヲ繰上ゲマシテ、第三、第四、第五終了後、第一、第二ノ日程ニ移リタイト考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第一、保險業法中改正法律案、政府提出、第一讀會、藤澤商工大臣

保險業法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和二年二月九日

内閣總理大臣

若槻禮次郎

司法大臣

江 木 翼

商工大臣

藤澤幾之輔

保險業法中改正法律案

保險業法中左ノ通改正ス

第九條中「書類ノ規定」ヲ「書類ニ定メタル事項」ニ改ム

第十一條 主務官廳カ保險會社ノ業務又ハ會社財産ノ狀況ニ依リ保險契約者、被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ權利ヲ保護スル爲メ必要ト認ムルトキハ財産ノ供託若クハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ期間ヲ定メテ業務執行ノ方法若クハ計算ノ基礎ノ變更ヲ命シ其他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十二條 保險會社カ本法、主務官廳ノ命令又ハ第五條ニ掲ケタル書類ニ定メタル事項ニ違反シタルトキハ主務官廳ハ取締役監査役ノ改選若クハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得

第十三條ノ四 保險會社ニ非サルモノハ其商號又ハ名稱中ニ保險事業者タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

第二十條ヲ第十九條ノ二トス

第二十條 會社カ資本減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ之ニ關スル定款變更ノ認可ノ日ヨリ二週間内ニ減少スヘキ金額、減少ノ方法及ヒ貸借對照表ヲ公告スルコトヲ要ス

第二十條ノ三第二項、第三項、第二十二條第三項及ヒ第二十五條ノ規定ハ資本減少ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十條ノ三第三項中「保險契約ノ移轉ヲ爲スコトヲ得ス」ノ下ニ「第二十條ノ六ノ規定ニ依リ第七條第七號ノ事項ノ變更ヲ定ムル場合ニ於テ異議ヲ述ヘタル保險契約者ニシテ其保險契約ニ付キ同條同號ノ事項ヲ變更セラルヘキ者カ同條同號ノ事項ヲ變更セラルヘキ保險契約者總數ノ十分ノ一ヲ超エ又ハ其保險金額カ同條同號ノ事項ヲ變更セラルヘキ保險契約者ノ保險金總額ノ十分ノ一ヲ超ユルトキ亦同シ」ヲ加フ

第二十條ノ六中「將來ノ保險料ヲ減額スヘキコト」ノ下ニ「又ハ其保險契約ニ付キ定メタル第七條第七號ノ事項ヲ變更スヘキコト」ヲ加フ

第二十條ノ七第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但會社ノ維持ニ必要ナル費用ヲ支出スル場合又ハ財産ノ保全其他特別ノ必要ニ依リ主務官廳ノ認可ヲ得テ財産ヲ處分スル場合ハ此限ニ在ラス同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前條ノ規定ニ依リ第七條第七號ノ事項ノ變更ヲ定ムル場合ニ於テ其變更ヲ爲サントスル會社亦第一項ニ同シ但保險契約ニ因リテ生シタル債務ヲ辨濟スルハ此限ニ在ラス

第二十條ノ十二中「其者カ保險契約者總數ノ十分ノ一以下ニシテ其保險金額カ保險金總額ノ十分ノ一以下ナルコト」ヲ「其數及ヒ其保險金額カ第二十條ノ三第三項ニ規定シタル割合ヲ超エサルコト」ニ改ム

第二十二條ノ二 生命保險ヲ目的トスル會社カ合併ヲ爲ス場合ニ於テハ合併契約ヲ以テ其保險契約ニ付キ定メタル第七條第七號ノ事項ヲ變更スヘキコトヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第七條第七號ノ事項ノ變更ヲ定ムル場合ニ於テハ其變更ヲ爲サントスル會社ニ第二十條ノ五及ヒ第二十條ノ七第三項ノ規定ヲ準用ス

第二十三條中「第七十四條」ヲ削ル

第二十五條中「其者カ保險契約者總數ノ十分ノ一以下ニシテ其保險金額カ保險金總額ノ十分ノ一以下ナルコト」ヲ「其數及ヒ其保險金額カ第二十條ノ

第三項ニ規定シタル割合ヲ超エサルコト」ニ改ム

第三十四條中「取締役ハ」ヲ「相互會社ハ」ニ改ム

第七十四條 削除

第七十五條中「商法第七十六條及ヒ」ヲ「第二十二條ノ二及ヒ商法第七十六條」ニ改ム

第九十一條中「營業稅」ヲ「營業收益稅」ニ改ム

第九十四條中「農商務大臣」ヲ「主務大臣」ニ改ム

第九十七條中「千圓以下」ヲ「五千圓以下」ニ改ム

第九十七條ノ二 第十三條ノ四ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

第九十八條第九號中「第二十二條」ノ下ニ「又ハ第二十二條ノ二」ヲ加ヘ第七號ヲ第八號トシ以下順次繰下ケ第六號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

七 第二十條ノ規定ニ違反シテ資本減少ヲ爲シタルトキ

第一百五條第一項中「主務官廳ノ命令」ヲ「本法、主務官廳ノ命令又ハ第五條ニ掲ケタル書類ニ定メタル事項」ニ改ム

第八十八條中「第七十三條第二項及ヒ第七十四條」ヲ「及ヒ第七十三條第二項」ニ改ム

第一百十二條中「第二十條乃至第二十二條」ヲ「第十九條ノ二乃至第二十二條ノ二」ニ改ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣藤澤幾之輔君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 提案ノ理由ヲ申上ゲマス、現行保險業法ハ明治三十三年ノ制定ニ係ルモノデゴザイマシテ、爾來二十餘年ノ年月ヲ經テ居ルノデアリマス、其間、商法改正ノ後ヲ承ケマシテ、一部ノ改正ガ行ハレタノデアリマスケレドモ、今日ヨリ之ヲ見マスレバ、尙未ダ時勢ノ進運ニ伴ハナイ

モノガアルノデアリマス、即チ保險事業界ノ現狀ニ鑑ミマシテ、最モ急ヲ要スルモノノ中ニ就テ改正ヲ試ミムスルモノデアリマス、其主要ノ點ハ、保險會社ノ資金ノ減少ニ關スル手續、保險會社ノ合併ニ關スル手續ヲ簡易ニセムトスルニ外ナラスノデアリマス、ドウカ御審議ノ上ニ御協賛ヲ賜ハラムコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

保險業法中改正法律案特別委員

伯爵樺山 愛輔君 子爵東園 基光君 犬塚勝太郎君

男爵郷 誠之助君 松本 丞治君 大橋新太郎君

末延 道成君 森本 善七君 根津嘉一郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、土地收用法中改正法律案、政府提出、

第一讀會、安達内務大臣臨時代理

土地收用法中改正法律案
右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

昭和二年二月十二日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

内務大臣臨時代理 遞信大臣 安達謙藏

土地收用法中改正法律案

土地收用法中左ノ通改正ス

第二條第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第五號中「府縣郡」ヲ「道府縣」ニ改ム

二 皇室陵墓ノ營建又ハ神社若ハ官公署ノ建設ニ關スル事業

三 社會事業又ハ教育若ハ學藝ニ關スル事業

第二條ノ二 現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ供スル土地ハ特別ノ必要アル場合ニ非ザレバ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ズ
第五條第二項及第三項中「土地」ノ下ニ「又ハ其ノ土地ニ在ル建物」ヲ加フ
第七條ノ二 本法ハ第二條ニ規定スル事業ノ用ニ供スベキ土地ニ定著スル物件又ハ之ニ關スル權利ヲ其ノ事業ノ用ニ供スル爲ニ收用又ハ使用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條第三項ヲ左ノ如ク改ム

日出前日没後ハ起業者ハ占有者ノ承諾アルニ非ザレバ邸内ニ立入ルコトヲ得ズ

第十二條中「内閣」ヲ「内務大臣」ニ改ム

第十三條 起業者ガ前條ノ認定ヲ受ケントスルトキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ内務大臣ニ申請スベシ但シ起業者ガ宮内省又ハ國ナルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ内務大臣ニ請求スベシ

第十四條中「内閣」ヲ「内務大臣」ニ改ム

第十五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同條中「郡市長」ヲ「市町村長」ニ、「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

前項ノ事業ガ宮内省、國又ハ道府縣ノ起業ニ係ルトキハ宮内大臣、主務大臣又ハ道廳長官府縣知事ハ事業ノ種類、使用スベキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ市町村長ニ通知スベシ

第十六條中「郡市長」ヲ「市町村長」ニ改ム

第十七條中「認定ヲ爲シタルトキ」ノ下ニ「又ハ第十五條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ」ヲ加ヘ「郡市長」ヲ「市町村長」ニ、「第三項」ヲ「第四項」ニ改ム

第十八條及第十九條中「内閣」ヲ「内務大臣」ニ改ム

第十九條ノ二 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ土地所有者及關係人

ハ事業ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外行政廳ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ收用又ハ使用スベキ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ第七條ノ二ノ物件ヲ損壞若ハ收去スルコトヲ得ズ

第二十條中「前條」ヲ「第十九條」ニ改ム

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ土地所有者及關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調査ヲ作ルベシ

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人ガ調査ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキ其ノ他之ト共ニ調査ヲ作ルコト能ハザルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルベシ市町村長ガ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ゲタル關係ヲ有スルトキハ起業者ノ申請ニ依リ地方長官立會人ヲ指定スベシ

起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作りタル調査ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第二十三條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

三 第二十一條ノ規定ニ依ル土地物件ニ關スル調査又ハ其ノ寫

第二十四條 地方長官前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ之ヲ市町村長ニ送付スベシ但シ同條第一項第三號ノ書類ハ此ノ限ニ在ラズ

市町村長前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク公告ヲ爲シ公告ノ日ヨリ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スベシ

第三十二條中「内閣」ヲ「内務大臣」ニ改ム

第三十三條中「郡市長」ヲ「市町村長」ニ、「第三項」ヲ「第二項若ハ第四項」ニ改ム

第三十八條中「府縣」ヲ「道府縣」ニ改ム

第四十條中「市參事會員、町村長」ヲ「市町村長」ニ、「府縣」ヲ「道府縣」ニ改ム

第四十三條中「收用又ハ使用スベキ土地以外ノ土地所有者」ヲ「前項ニ掲グル者以外ノ者」ニ改ム

第六十六條中「内閣」ヲ「内務大臣」ニ改ム

第七十五條 第九條又ハ第十一條ノ場合ニ於テ行政廳ノ許可ヲ得ズシテ土地ニ立入り又ハ障害物ヲ除却シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知アリタルコトヲ知リタル者第十九條ノ二ノ規定ニ違反シタルトキハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十七條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第七十八條中「四十圓以下ノ罰金」ヲ「百圓以下ノ過料」ニ改ム

第七十九條 鑑定人又ハ第四十三條第二項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出ラ受ケタル者故ナク出頭セザルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

第八十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第八十六條 第十五條乃至第十七條及第三十三條ノ規定ニ依リ町村長ノ爲スベキ職務ハ北海道ニ於テハ支廳長之ヲ行フ

本法ニ依リ町村長ノ爲スベキ職務ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村長ニ準ズベキ者之ヲ行フ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

大正十五年法律第七十八號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前收用審査會ノ裁決ヲ求メタル收用又ハ使用ニ付テハ第四十三條ノ規定ヲ除クノ外仍從前ノ例ニ依ル但シ第三十五條第二項ノ規定ニ依リ却下ノ裁決アリタルモノニ付テハ其ノ裁決ニ對シ訴願訴訟ヲ爲ス場合ヲ除クノ外此ノ限ニ在ラズ

本法施行前從前ノ第七十八條又ハ第八十條ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シタル者ニシテ本法施行ノ際未ダ其ノ裁判ヲ受ケザル者ハ本法ニ依リ處罰ス但

シ過料ノ額ハ同條ノ罰金ノ額ヲ超ユルコトヲ得ズ

「國務大臣安達謙藏君演壇ニ登ル」

○國務大臣(安達謙藏君) 土地收用法中改正ノ件デゴザイマスガ、玆ニ此改正案ヲ提出シタ次第ハデス、現行ノ土地收用法ハ、古ク明治三十三年ノ頃制定ニナリマシタモノデゴザイマス、時運ノ趨勢ニ伴ハザルモノガゴザイマスカラ、之ヲ改正セムト致スノデアリマス、其改正ノ要旨ヲ概言イタシマスレバ、土地ヲ收用シ又ハ使用スルコトヲ得ベキ事業ヲ追加イタシマシテ、公共用地ト雖モ時ニ之ヲ收用スルノ途ヲ設ケマシテ、又收用地ニ定著スル物件若クハ之ニ關スル權利ヲ收用スル制度ヲ認メマシテ、公共事業遂行ノ容易ナラムコトヲ圖ツタノデアリマス、又一面損失ノ補償ヲ受クベキモノノ範圍ヲ擴張イタシマシテ、收用又ハ使用スベキ土地ニ在ル建物ニ關シテ權利ヲ有スル者ヲ關係人トナシマシテ、ソレ等ノ權利ヲ尊重シ、收用ニ關スル事務ノ簡捷ヲ期スルガ爲ニ、事業認定權ヲ内務大臣ニ移シタ外、手續ノ正確ト敏捷ヲ圖ル爲ニ、手續法規ニ改正ヲ加ヘ、又法規違反ニ對スル制度ヲ改メマシテ、他ノ刑罰法トノ權衡ヲ圖リマシタ次第デアリマス、又北海道及沖繩ニ收用審査會ノ制度ヲ設ケムトスルノデアリマス、是ガ本法改正案ヲ提出スル次第デアリマス、何卒御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

「小林書記官朗讀」

土地收用法中改正法律案特別委員

伯爵 松浦 厚君	服部 一三君	子爵 野村 益三君
男爵 紀 俊 秀君	笠井 信一君	青木 周三君
宮田 光雄君	小林 嘉平治君	絲原 武太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、外國官廳ノ用地トシテ貸付スル國有財産ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、大隈侯爵

外國官廳ノ用地トシテ貸付スル國有財産ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年二月二日

右特別委員長

侯爵 大隈 信 常

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵大隈信常君演壇ニ登ル〕

○侯爵大隈信常君 只今問題ニナリマシタ所ノ外國官廳ニ付與スル國有地ニ關シマスル法律ガ差當リ適用ヲセラレマス場合ハ、中央官衙及帝國議會ノ議事堂ノ建設ニ關聯イタシマシテ、從來、露國ノ大使館、支那公使館其他ノ大公使館等ノ敷地トシテ貸付ケテ居リマス所ノ國有地ノ返還ヲ求メル必要ガアリマシテ、之ニ對シマシテ他ニ適當ナル換地ヲ貸付ケマスル際ニハ、國有財産法ノ第十五條ト云フモノノ規定ニ依リマスルト、三十年ヲ超ユルコトヲ得ズト云フコトニナツテ居リマス、ソレデアリマスカラ、此制限ヲ廢止スル所ノ必要ガアルノデアリマス、何トナレバ、帝國政府ノ必要ニ基キマシテ、從來永代又ハ無期限ノ貸付契約ヲ解除イタシマシテ、新ニ他ノ國有地ヲ貸付ケマスル場合ニ、其期限ニ制限ヲ付ケマスルト云フコトハ、當該外國政府ニ對シマシテ是マデ與ヘラレテ居リマシタ所ノ利益ヲ奪フト云フ結果トナリマシテ、穩當デナイト云フ嫌ガアルバカリデナク、尙又外國政府ノ同意ヲ得マスト云フコトニ困難ヲ感ズルカラデアリマス、尙又我が帝國政府ガ外國ノ大公使館ニ對シマシテ貸付ケテ居リマス所ノ國有地ニ對スル地代ハ、從來極メテ低廉デアリマス、故ニ丁度此法律ガ出來マシテ換地ヲ貸付ケマスル場合ニ、此地代ヲ相當ノ程度マデ引上グルコトガ出來ナイカト云フヤウナ問題ガアッタノ

デアリマス、然ルニ現在外國ノ政府トノ貸地ノ契約ト云フモノニ依リマスレバ、地代ノ引上ト云フモノハ、各國ノ政府ニ對シマシテ、貸付ニ付キマシテハ一般的ニ引上ラスルト云フ場合ノ外ハ、特別ノ國バカリニ限ッテ引上ヲ致スト云フコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、デ特ニ此際、我が帝國政府ノ必要ニ依リマシテ貸地ノ變更ヲ求メテ居リマス云フヤウナ國ダケニ對シマシテ、其地代ノ引上ラスルト云フコトハ、甚ダ困難デアリマス、併ナガラ將來適當ノ時機ニ於キマシテ、一般的ニ此地代ヲ引上グルト云フコトハ、最モ考究スベキ問題デアルト云フ御説明ガアリマシタ、委員會ハ以上ノ如キ政府ノ御説明ヲ承リマシテ、本案ハ此場合ニ於キマシテ實ニ已ムヲ得ザル所ノ改正デアルト云フコトヲ認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタ次第デアリマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵池田政時君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵白川資長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 池田子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵池田政時君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵白川資長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 池田子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵池田政時君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 池田子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、昭和二年度歳入歳出總豫算案竝昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件、第五、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件、外務大臣幣原男爵

「國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル」

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 昨日志水君ガ外交問題ニ關シテ御質問ニナリマシタル際、私ハ少シク宮中ノ御用デ參内イタシテ居リマシテ、親シク拜聽スルノ機會ヲ得ナカッタノデアリマス、先刻議事録ノ配付ヲ得マシタニ依リマシテ、此速記録ニ依リマシテ、大體御答ヲ申上ゲタイト考ヘマス、志水君ノ御質問ノ第一點ハ、對支政策中絶對不干渉ト云フコトハドウ云フコトデアルカ、例ヘバ支那ノ官憲ガ暴力ヲ以テ租界ノ回收ヲ企テルガ如キ場合ニ於テ、政府ハ之ヲ防止スルノ用意ハアルカト云フ點デアリマス、今日マデ支那ノ如何ナル官憲ニ於キマシテモ、暴力ヲ以テ日本ノ專管居留地ヲ回收セムコトヲ企テ、居ルモノハ無イノデアリマス、又現ニ斯カル計畫ヲナシテ居ルモノガアルト云フコトハ信ゼラレマセヌ、從テ支那ノ官憲ガ暴力ヲ以テ租界ノ回收ヲ圖ル場合ニ、之ニ對スル對策如何ト云フコトハ、少クモ日本ノ關スル限リニ於キマシテハ、全ク假想的ノ問題デアリ、斯カル假想的ノ問題ニ對シテ豫メ政府ヨリ如何ナル處置ヲ執ルト云フコトヲ言明イタシマスコトハ、少シク早計デアリマシテ、又成ルベク避ケタイト考ヘマス、尤モ志水君ノ御質問ノ御趣旨ガ、支那ノ官憲ニ於テ斯ノ如ク暴力ヲ以テ我ニ對シテ來タ場合ニ於

テ、尙ホ政府ハ對支不干渉政策ヲ支持スル、實行スル積リデアルカト云フコトデアルナラバ、過日添田博士ノ御質疑ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマシタ如ク、我々ハ所謂不干渉ト申シマスコトハ、支那ノ國內ノ政爭ニ干涉シナイト云フ意味デアリマシテ、支那ノ國內ノ政爭ニ干涉シナイト云フコトハ、我ガ權利利益ヲ擁護スルト云フコトハ、全ク二ツノ關係ノナイ問題デアリマシテ、兩者互ニ反撥性ヲ有シテ居ルモノトハ私ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、若シ萬一暴力ヲ以テ我ニ對シ租界ノ回收ヲ圖ルト云フヤウナ如キ場合ガアリト假定イタシマスレバ、之ニ對シテドウ云フ措置ヲ取ルカ、尙ホ不干渉政策ヲ執ルカト仰セラレルナラバ、我々ハ固ヨリ尙其内爭ニハ干涉シナイト云フ主義ハ執ルノデアリマス、斯ノ如ク我々ガ我々ノ正當且ツ重要ナル權利利益ヲ擁護イタシマスルト云フコトハ、對支不干渉政策ニ對シテ何等ノ例外又ハ但書ヲ設ケルコトナクシテ行ハレ得ル話デアルト、私等ハ斯様ニ解釋イタシテ居ルノデアリマス、我々ガ我ガ重要ナル正當ナル權利ヲ擁護スルト云フコトハ、是ハ當然ナ話デアリマシテ、之ニ對シテ十分ナル覺悟ヲ有スルト云フコトモ、是モ亦言フヲ俟タヌ話デアリマス、何レノ場合ニ於キマシテモ、支那ノ内爭ニハ關係シナイ、即チ支那ノ一ノ黨派ヲ助ケテ他ノ黨派ヲ抑ヘルト云フヤウナ意味合ハ、少シモ合ンデ居ラヌ、斯ウ云フ趣意デアリマス、御質問ノ第二點ハ、既得ノ權利利益ノ中ニハ租界ヲモ包含スルカト云フコトデアリマス、支那ニ於ケル日本ノ專管居留地ナルモノハ、申ス迄モナク日支兩國ノ條約ニ基イテ生ジテ來タモノデアリマス、從テ日本ガ此居留地ヲ維持經營イタシマスコトハ、條約上ノ權利デアリマス、此權利ハ何等疑ヲ容レヌ所ノ權利デアルト我々ハ考ヘテ居ル、併ナガラ元來居留地ト云フモノハ、其性質ニ於キマシテ永久不變ノモノデハナイノデアリマス、御承知ノ如ク日本ニ於キマシテモ、昔ハ諸開港場ニ於キマシテ外國ノ居留地ト云フモノガ有ッタノデアリマスルガ、其後、日清戰爭以後ノ條約ノ改正ニ依リマシテ、各關係列國ノ快諾ヲ以テ、此制度ガ撤廢サレタノデアリマス、支那ニ於ケル專管居留地ニ付キマシテモ、我々ハ安心シテ快ク此制度ノ變更ニ同意シ得ル日ノ來ラム

コトヲ望ンデ居ル次第デアリマス、第三ノ御質問ハ、共存共榮ノ觀念ノ中ニハ、我國ノ死活的利害ヲモ含ムカドウカト云フコトデアリマス、共存共榮ト申シマスルコトハ、申ス迄モナク其文字ノ示スガ如ク、關係兩國ガ兩立、併行シテ生存シ繁榮スルト云フ意味デアリマス、若シ一國ノ緊切ナル利益、死活的利益ヲ犠牲トシテ、他ノ一國ノ生存繁榮ヲ進メナケレバナラヌト云フコトデアリマスレバデス、是ハ共存共榮デハナクテ、獨存獨榮デアラウト考ヘマス、斯ノ如キ利己的政策ニ對シマシテハ、我々ハ固ヨリ承認ヲシ得ル限リデハナイノデアリマス、ソレカラ第四ノ御質問ハ、對支問題ノ中ニテ、或ハ列國協調ニ依リ、或ハ單獨行動ニ依ッテ解決セムトスルモノガアルヤウニ見エルガ、其間ノ區別如何ト云フ意味ノ御質問デアッタノデアリマス、列國ガ共通ノ利益ヲ……利害ヲ有スル問題ニ付キマシテハ、固ヨリ列國ノ協調ニ依ッテ之ガ解決ヲ圖ルト云フコトハ、主義トシテ當然ノコトデアルト考ヘマス、又列國ガ利害ヲ共ニセザル問題ニ付キマシテハ、是ハ單獨ノ行動ニ依ッテ解決ヲ圖ルシカ仕方ガナイノデアリマス、尤モ列國ガ共通ノ利害ヲ有シマスル問題ニ付キマシテモデス、關係列國間ニ自ラ觀察ヲ異ニシ立場ヲ異ニスルト云フコトガ往々アリ得ルコトデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於キマシテハ、如何ニ我々ガ協調ヲ致シタイト云フ趣意ニ熱心デアリマシテモ、一國ガ自分ノ觀察立場ニ依ッテ他國ノ行動ヲ強ヒ得ル話デハナイノデアリマス、一例ヲ申上ゲマスレバ、支那ノ關稅二分五厘又ハ五分ノ附加稅ノ問題デアリマス、斯ノ如キ問題ニ付キマシテハデス、列國ノ中ニハ、此附加稅ノ徵收ニ對シテ即時無條件ニ之ニ同意シテモ宜シイ、承認シテモ宜シイト云フ意見ヲ持ッテ居ル者モアルノデアリマス、我々ト致シマシテハ、斯ノ如キ即時無條件ノ承認ニ對シマシテハ、是ハ華盛頓條約ノ規定並ニ精神ニ違背シ、且ツ支那全國民ノ爲ニモ甚ダ不深切ナルヤリ方デアルト云フ、我々ハ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク意見ガ異ナッテ居リマスケレドモ、又斯ノ如ク意見ヲ異ニスルノハ已ムヲ得ナイ次第デアリマスケレドモ、何レノ場合ニ於キマシテモ、我々ハ關係列國トノ間ニ十分腹藏ナク意見ノ交換ヲ圖リマシテ、對手國ノ立場モ十分

了解イタスト云フコトニ致シマスレバデス、國際間ノ誤解、疑惑、反感ト云フモノガ必シモ生ズベキ譯ハナイト考ヘルノデアリマス、主義ト致シマシテハ、固ヨリ國際協調ノ主義ニ依ルコトガ望マシイコトデアルト云フコトハ、申ス迄モアリマセヌ、第五ノ御質問ハ、英國ノ第一第二ノ覺書ニ付テハ、豫メ我國ノ承認ヲ得タモノデアルカト云フ點デアリマス、英國政府ノ第一次第二次ノ覺書ニ付キマシテハ、其發表セラレル前ニ、我政府ニ英國政府ヨリ内告ガアッタト云フコトハ事實デアリマス、併ナガラ是等ノ覺書ニ對シテ、兩國政府ノ當局ノ間ニ如何ナル意見ノ交換ガアッタカト云フコトハ、今日之ヲ申上ゲマスコトハ誠ニ其當ヲ得ナイコトデアリマシテ、是ハ今日只今言及イタシマシテ、支那ハ絕對ニ平等ノ地位ヲ要求イタシテ居ル、支那ガ得ムトスルモノト日本ガ與ヘムトスルモノトノ間ニハ、大ナル懸隔ガアルヤウニ見受ケラレルガ如何カト云フコトデアリマス、私ハ支那ニ對シテドコ迄モ日本ト支那トノ間ニ不平等ノ關係ヲ持タナケレバナラス、支那ヲ劣等國トシテ扱フト云フヤウナコトハ私ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、主義ト致シテ平等ノ關係ニ立ツト云フコトハ望マシイコトハ、私等モ十分認メテ居ルノデアリマス、從テ根本的ノ觀念ニ於テ、兩國ノ間ニ於テ大ナル懸隔ガアルモノトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、又其問題ニ、同一ノ問題ニ關係イタシマシテ、志水君ガ、今日日本政府ガ北京政府ト交渉ヲ致シテ居ルノハ非公式ノ交渉デアアル、其條約ノ調印締結ト云フコトハ追ッテ正當政府、統一セル政府ガ出來テカラ之ヲ行フト云フコトデアアルナラバ、殆ド際限ノ無イ話デアアル、二十年掛カルカ三十年掛カルカ期シ得ラレナイ話デハナイカト云フ御質問モアリマシタ、固ヨリ志水君ノ御話ノ如ク、今日ヤッテ居リマス交渉ハ、所謂非公式ノ交渉デアリマス、通商條約ヲ正式ニ調印イタシマスと云フコトハ、其條約ノ相手方タル新政府ノ承認問題ヲモ必然ニ包含スルモノデアリマスルカラ、今日ハ我々ハ其時機デアルトハ考ヘマセヌ、只今ノ所デハドウシテモ非公式交渉ノ程度ニ止メルシカ仕方ガナイノデアリマス、然ラバ斯ノ如キ狀態ガ何時マデ續クカ、是ハ

恐ラクハ何人ト雖モ豫測シ得ル問題デハナカラウト思フノデアリマス、條約ヲ締結スル、調印スルト云フコトニ相成リマスレバ、固ヨリ承認セル政府ヲ相手方トスルシカ仕方ガナイノデアリマス、イツカル政府ガ出來ルカト云フコトハ、今後支那ノ時局ノ推移ニ依ルベキコトデアリマシテ、只今ヨリ豫斷シ得ベキモノデハナイト考ヘマス、第七ニ、支那ノ南北政府承認ニ對スル政府ノ考ハ如何デアルカト云フコトデアリマス、政府ハ支那ノ領土保全ノ主義ヲ尊重スルモノデアリマスルカラシテ、支那ノ南北兩政府ヲ併立シテ、併セ存在スルモノトシテ之ヲ承認スルト云フコトハ、其主義ノ問題トシテ、我我ハドウシテモ同意ノ出來ヌコトデアリマス、又然ラバ今日北京政府並ニ國民政府、其何レカニ對シテ承認ヲ與ヘル考ガアルカト云フコトデアリマスレバ、今日ハ支那ニ於ケル混沌タル政情ニ顧ミマシテ、如何ナル政府モ支那全國民ヲ代表シ得ル、國際的ニ支那全國民ヲ代表シ得ルト云フヤウナ政府ハ未ダ存在シテ居ナイノデアリマス、從テ今日何レノ政府ヲモ正式ニ承認スルト云フ考ハ持ッテ居リマセス、ソレカラ終リニ、第八ニ、支那ノ各地ノ情報蒐集ニ付テハ、現在ノ儘デ遺憾ガナイト認ムルカドウカト云フコトデアリマス、我々ハ支那ノ事情ヲ觀察シ、正確ナル報道ヲ得ムガ爲ニ、支那ニ於ケル政府ノ各機關ガ互ニ協力イタシ、綿密ナル聯絡ヲ保チマシテ、其事ニ從ッテ居ルノデアリマス、今日マデ是等ノ各機關ヨリ得マスル所ノ報道ト云フモノハ、大體正確デアリマシテ、我々ハ別ニ不満足デアルトカ、遺憾ノ點ガアルトカ云フヤウニハ認メテ居リマセス、尙ホ今日ノ時局ニ顧ミマシテ、支那ノ北方地方ノミナラズ、支那ノ中央並ニ南方地方ニ付キマシテノ政情ヲモ、十分ニ是ハ調査シ研究スル必要ガアルコトヲ認メマシテ、從來ノ領事ノ外ニ、別ニ隨時外務本省ヨリモ適當ナル人ヲ出張イタサセマシテ、各方面ノ人士ト接觸イタシ、報道ヲ集メテ居ル次第デアリマス、今日ノ現狀ニ於キマシテ、別ニ是等ノ機關ノ間ニ統一ガ保テナイ、或ハ報道ガ不満足デアルト云フヤウナ事實ハ認メテ居ラヌノデアリマス、是ダケノコトヲ御答辯申上ゲマス

〔國務大臣宇垣一成君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(宇垣一成君) 昨日志水君カラ陸軍當局ニ對シテ御質問ニナリマシタ要點ハ數件アリマス、其點ニ付テ御答ヲ致サウト思ヒマス、其第一點ハ軍部ノ支那ノ實情調査ニ關スル件デアリマス、從來ハ陸軍ノ支那ニ關スル調査研究ハ相當ニ權威アルモノデ、其知識モ豊富デアッタ、從テ動モスレバ或ル方面ヲ引摺ルトカ、或ハ出シ抜クトカ云フヤウナ關係カラ、二重外交ト云フヤウナ評モ立ッテ居ッタガ、近來ハ一向ソシナコトヲ聞カヌ、從テ軍部ノ調査研究ガ從來ノモノニ比スレバ大イニ劣ッテ來テ居ルノデハナイカ、ト云フヤウナ御質問ノ趣意ニ拜承イタシマシタガ、御承知ノ通り隣邦ノ實情ヲ絶エズ調査イタシテ置クト云フコトハ、是ハ國防上極メテ緊要ナコトデアリマス、就キマシテハ今日ト雖モ支那ノ各要所々々ニハ、相當ノ機關、人員ヲ配置シテ、絶エズ調査研究ヲ遂ゲテ居リマス、其舉ゲツツアル所ノ能率モ、從來ノモノニ比シマシテ、優ッテ居ッテモ劣ル所ハ毛頭ナイト信ジテ居リマス、唯近時二重外交ト云フヤウナ言葉ガ世間ノ口ニ上ボルコトガ無クナリマシタコトハ、要スルニ各關係向キトノ聯絡協調ト云フコトガ、圓滑ニ行クヤウニナリマシタ結果ト信ジマシテ、所謂結構ナル現象デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、第二ノ御問ハ、國家總動員準備ニ關スル件デアリマシテ、陸軍當局ハ前年來國家總動員ノ必要ヲ力説イタシテ居ル、是ハ極メテ國防上大事ナ必要ナコトデアルガ、財政上ノ計畫等ヲ見テモ、ドウモ其點ガ餘リ十分ニ考慮サレテ居ラナイ、斯ウ云フコトデ宜シイカト云フヤウナ御質問ノ趣旨ト拜承イタシマシタガ、國家總動員準備ノ必要デアルト云フコトハ、今更茲デ申上ゲルモ無駄ト存ジマスルガ、本年度ハ豫算ノ上ニ、即チ大藏省所管ノ中ニ、資源局及資源審議會ニ關スル經費ガ計上サレテ居リマス、此經費ガ御協賛ヲ得マシタナラバ、其後ニ於テ其資源局資源審議會、組織ヲ了ヘ、且ツ此總動員準備ニ關スル其必要ト云フコトヲ國民ガ理解シ、又官私ノ關係向キガ十分ニソレヲ理解シ、協調ガ能ク取レテ行キマシタナラバ、此國防上大事ナ總動員準備ニ關スルコトハ、立派ナル成績ヲ擧ゲ得ルモノト信ジ、又サウ致サウト考ヘテ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、第三ノ御問ハ、憲兵制度ニ關スル件デ

アリマス、現在ノ憲兵ヲ尙ホ擴張シテ、行政警察ノ範圍ニカフ伸バシ、擴張ルト云フ所ノ考ヲ有シテ居ルカ否ヤト云フ意味ノ御問デアリマシタ、是ハ昨年此議場デモ申上ゲテ置キマシタ通り、平時ニ於ケル憲兵ノ爲スベキ仕事ハ軍事警察ガ主デ、サウシテ行政司法ノ警察ハ副目的デアリマス、ガ抑、此憲兵ヲ平時ニ常置イタシテ居ルト云フ趣旨ハ、戰時戰場ノ後方若クハ占領地等ニ於テハ、警察業務ハ憲兵ヲ以テ充テルコトガ極メテ必要デアル、其戰時ニ要スル機關ヲ平時カラ準備シ、且ソレヲ養成シテ置クト云フ趣旨カラ、憲兵制度ガ成立ッテ居ルノデアリマス、從テ相當ノ人員ヲ備ヘ、ソレヲシテ平時ニ憲兵業務ノ演練ヲサシテ置ク、ソレガ爲ニ軍事或ハ行政、司法ト云フヤウナ警察ニ關與ヲ致スコトニナッテ居ルノデアリマス、志水君ハ現在ノ世相ヲ、我々ノ觀察シテ居ルトハ少シ變タ御觀察ヲ有シテ居ラレルヤウデアリマシタガ、志水君ノ如キ世相ガ御觀察通りデアルトスレバ、或ハ今後憲兵制度ノ擴張ト云フコトモ必要デアルカモ存ジマセヌガ、今日ノ所デハ、我々ハ志水君ノ御觀察トハ聊カ異ナッテ考ヲ持ッテ居リマスカラ、今ノ所デ憲兵制度ヲ擴張シ其仕事ノ範圍ヲ擴メルト云フヤウナ意思ハ有シテ居リマセヌ、次ハ在郷軍人會ニ關スル件デアリマシタ、在郷軍人會ヲ政府ハ一ツノ規定ヲ設ケテ法制テ取締リ、且ツ指導シテ行クト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルカドウカ、ト云フ意味ニ承知ヲ致シマシタガ、御承知ノ通り在郷軍人會ナルモノハ、元元各地方ニ在ッテ個々ノ尙武團體ト云フモノガ、自發的ニ一致團結ヲ致シマシテ、サウシテ自ラ規約ヲ設ケ、其規約ニ依ッテ陸海軍大臣ノ監督ヲ受ケルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、此會ノ發達ノ歴史ハ、所謂自治的ニ進ンデ來タ所ノ沿革ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ頗ル結構ナコトデ、將來モ此自治的ノ働キ益々發達完成ヲ期シタイト思フノデアリマス、又ソレデ相當ノ成績ヲ舉ゲツ、今日迄アリマスルカラ、之ヲ今助長シテ行クト云フコトガ、寧ロ政府ガ或ル法制ヲ設ケテソレヲ縛リ、ソレヲ引廻スト云フヨリハ、モット床シイヤリ方デアルト存ジマスルカラ、現在ノ所デハ新ニ法制ヲ設ケテ云々ト云フヤウナ考ハ有シテ居リマセヌ、最後ノ御問ハ、青年訓練ニ

關係シタコトデアリマシタ、ドウモ青年訓練ノ實況ガ頗ル不徹底デアル、寧ロ此仕事ハ陸軍ガ文部ヨリ引取ツテ、サウシテ十分ニ徹底的ニヤッタ方宜クナイカ、之ニ對シテドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フ意味ノ御問ト存ジマシタガ、申ス迄モナク青年訓練ナルモノハ、所謂國民ノ資質向上ノ訓練デアリマス、其點カラ考ヘマスレバ、當然文部ノ方デ管掌サレテ行クト云フコトガ正當デアルト考ヘマス、何モ此訓練ハ兵營内ニ於テ行フベキ軍事訓練ヲ地方ニ引出シ、或ハ延長シタト云フ意味ハ毛頭有シテ居ラナイノデアリマス、又今日此青年訓練ノ事柄ガ十分ニ徹底セズ、成果モ十分ニ擧ガッテ居ラナイト云フコトハ、是ハ私共モ確ニ認メテ居ル所ノ一人デアリマス、ガ併シ何分ニモ此事業ハ昨年ノ七月カラ漸次ニ著手サレテ、所ニ依ッテハ暮ニ漸ク出來上ッタト云フヤウナ所モアルヤウナ次第デアリマスカラ、マダ創業日淺ク、今日直チニ十分ナル成果ヲ收メ、徹底シタ效果ヲ擧ゲルト云フコトハ、是ハ時日ノ許サヌ點モアラウト思ヒマスル、併シ現狀ニ於テ決シテ私共ハ甘ンジテ居ル者デハアリマセヌ、益々立派ニ之ヲ仕上ゲテ行カムト存ジテ居リマスルガ、兎ニ角、時ガ是ノ解決ニハ相當ノ時日ヲ要スル、時ヲ要スルト思ヒマスルカラ、暫ク長イ眼ヲ以テ御覽ヲ戴キタイト云フ希望ヲ有シテ居リマス、是デ大體志水君ノ御質問ニ對スル私ノ答辨ハ盡シテ居ルト存ジマス

〔國務大臣安達謙藏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(安達謙藏君) 志水君ノ御質問ノ中ニ、此警察制度ニ關スルコトノ御尋ガアリマシタ、憲兵ト警察ノ關係ニ付キマシテノ御尋ニ付キマシテハ、只今陸軍大臣カラ答辯ニナリマシタ通デゴザイマスカラ、私之ニ更ニ言葉ヲ添ヘル必要ハナイト考ヘマスル、唯内務大臣代理ト致シマシテ御答ヘスル範圍ハ、陸軍大臣ガ答ヘラレマシタカラ甚ダ範圍ガ狹クナッテ居リマス、唯御尋ノ中デ、近年警察官ハ政黨化スル、此政黨ノ爲ニ利用セラレテ、サウシテ總選舉ニ當ッテ大イニ反對黨ヲ苦メル、ソレデ警察官ノ政黨化ハ司法警察ノ働キヲ鈍クスルト云フ御話ト、ソレカラ警察官ハ無能デアル、警察官ハ質實剛健ノ氣性ニ缺ケテ居ル、只今此速記録ヲ取寄セテ見マスト、冒險ノ氣性ト書

イテアリマス、其點ハ所謂剛健ノ氣性ニ缺ケテ居ルト云フ御尋ト考ヘマス、此點ニ付テ御答ヲ致シテ置キマス、警察官ノ政黨化スルト云フコトハ極ク／＼宜シクナイト云フコトハ、志水君ト全然御同感デアリマス、我々モ多年其弊害ヲ認メテ居ルノデアリマス、志水君ハ、内務大臣ハ在野黨トナッテ選舉ニ臨ム場合ノコトヲ記憶シタラ宜カラウト云フ御言葉モアッタヤウデゴザイマスルガ、私ハ多年在野黨ト致シマシテ、是マデ總選舉又ハ府縣會議員ノ選舉ナドニ際シマシテ、幾度モ此警察官ノ、志水君ノ御尋ノヤウニ政黨化ノ弊害ヲ痛感イタシテ居リマス、ソレデ此加藤内閣成立以來、其點ニ付キマシテハ随分注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、衆議院ノ補闕選舉モ、全國ニ互リマシテ既ニ十回モ行ハレテ居リマス、府縣會ノ議員補闕選舉或ハ市町村會議員選舉ト云フヤウニ、度々各地ニアリマシタガ、加藤内閣成立後ハ、此警察官ノ選舉ニ干渉スルト云フ訴ヲ聞キマシタコトハ無イノデアリマス、先日總理大臣ガドナタカノ質問ニ對シマシテ答ヘラレマシタ時ニモ、此彼我ノ政黨ノ統計ナドヲ取ルコトヲ見合セル、此警察官ノ政黨化ニ付キマシテハ、彼ノ總理大臣ノ御答ノコトハドウスルカト云ヒマス、實際ニ於テ警察官ガ各有權者ヲ戸別訪問スル、戸別訪問シテ政黨ノ所屬ヲ尋ネテ廻ルノデアリマス、是ガ非常ナ脅威ニナッテ居ル、其他有ユルコトハ志水サンノ御尋ノ通ニ、我々在野時代ニ十分承知イタシテ居リマスカラ、此點ニ付キマシテハ、加藤内閣及現内閣ニナリマシテモデス、各地其點ヲ十二分ニ警戒ヲ致シテ居リマスカラ、現在ニ於キマシテハデス、此警察官ノ政黨化ハ無イト認メテ居リマス、警察官ガ無能デアルトカ、剛健ノ氣性ニ缺ケテ居ル、此無能ト云フコトモ程度問題デゴザイマシテ、私ハ今日ノ警部巡查ガ甚シキ無能トハ認メマセヌ、ソレハ若干ノ缺點ガ全然無イカト申シマス、ソレハ缺點ナキニシモアラヌコトモゴザリマセウ、併ナガラ決シテ大體ニ於テ無能トハ思ヒマセヌ、要ハデス、上ニ立ツ人ガ、即チ東京デハ警視總監、地方デハ警察部長及府縣知事等、此上ニ立ツ人ガ、各警部巡查ノ師表トナル考デ……儀表トナル考デ立チマシテ、サウシテ嚴正ニ身ヲ持シテ、公平ニ此警察ノ機能ヲ働カセマシタナラバデス、

私ハ餘程警官ノ治績ハ舉ルモノト考ヘテ居リマス、其點ニ付キマシテハ、十分今日マデ注意イタシテ居リマス、若シ強ヒテ率直ニ申シマシテデス、ドウ云フコトガ警官ノ頭ニ缺ケテ居ルダラウカト考ヘマス、私ハ平素思フテ居リマスガ、例ヘバ此東京市ノ如キ、非常ニ電氣ナドガ盛ニナリマシテ、此電氣ナドニ對スル知識トカ、サウ云フ理化學的ノ知識トカ、又國民衛生ニ關スル知識トカ云フ方面ノ缺乏ハアルカモ知レマセヌガ、普通ノ警官トシテノ働キニ於テハ、上ニ立ツ人ガ此政黨化ナドノ弊害ヲ注意イタシマシテ、サウシテ嚴正ニシテ居リマシテ、警部巡查ヲ督勵イタシマシタナラバ、相當ニ警察ノ機能ヲ發揮イタシマシテ行ク積リデアリマス、又剛健ノ氣性ニ缺ケル、是ハ餘程ムヅカシキ事デゴザイマス、私ノ知り得ル所デハ、矢張り志水君ノ御憂慮ニナルヤウニ、内務省ノ當局者モデス、此點ニ注意ヲ致シマシテ、各方面ニ其注意ヲ與ヘテ居リマス、現ニ數日前デアリマシタガ、此東京ニ於ケル全國ノ警察官ヲ集メテ居リマス講習所ガアリマス、其卒業式ニ臨席イタシテ見マシタガ、警保局長ガ卒業生ニ對シテ、ドウ云フ囑ノ言葉ヲスルカト聽イテ居リマシタガ、矢張り志水君ノ御懸念ニナルヤウニ、剛健ノ氣性ガ必要ダ、犧牲的ノ心ヲ以テ仕事ヲセニヤラヌト云フヤウナコトヲデス、卒業生ニ對シテ戒メテ居マシタガ、此點ハ十分注意ヲ致シマシテ、今日ノ時代ハ御承知ノ通りノ時代デアリマスカラ、實質剛健ノ氣性、犧牲的ノ精神ヲ以テ職務ニ働クト云フヤウナコトハ、出來得ルダケ今後モ注意ヲスル積デゴザイマス、他ノ方面ハ先ニ申シマシタ通り陸軍大臣カラ御答イタシテ居リマスカラ、私ハ此點ダケヲ御答イタシテ置キマス

○志水小一郎君 只今、外相、陸相、内相カラハ極メテ率直且ツ丁寧ナル御答辯ヲ得マシテ、其點ハ満足イタスノデアリマスガ、併シ尙ホ二三御尋ヲスルコトガアリマス、ソレハ後ニ廻シマシテ、總理大臣ニ御答辯ノ追完ガ願ヒタイ、ソレカラ、ソレニ先ダチマシテ少シク申上ゲテ置カヌケリヤナヌコトガ有ルノデアリマス、總理大臣ノ御答辯ハ、他ノ各大臣ノ御答辯ニ比シマスレバ、本員ハ有リヤウスノ加ク感ズルノデアリマス、何カ我々ラドウ云フ

風ニ思ウテ御イデナサルカ、御答辯が如何ニモ外交的辭令ノヤウナ風ニ聞エ
ルノデス、我々ハ有リヤウ總理大臣ヲ或意味ニ於テハ攻撃シツ、アルノデス、
蓋シ我々ト考テ同ジウシテ續々攻撃ヲスル人ガアルダラウト本當ニ信ジテ居
リマス、何事ゾ、我々ドウ云フ風ニ御覽ニナッテ居リマスカ、如何ニモ外
交的辭令ノヤウナコトヲ以テ御答ヘニナルトハ、甚ダ不可解デアリマス、私
ハ今ノ追完ヲ願フ前ニ少シク申上ゲテ置キタイノデス、首相ハ付度ト云フ言
葉ヲ頻ニ御使ヒニナル、付度ト云フコトハ、本員等ノ考ヘテ居ルノニハ、他
人ノ心ヲ……料簡ヲ推測スルト云フコトデアリマス、立派ナ古語デアリマス、
「他人有心予付度之」ト云フ言葉カラ來テ居ルノデアリマス、我々ノ質問ニ對
シテドウシテ付度ト云フ言葉ガ必要デアリマスカ、本員ハ斯ウ云フコトヲ御
尋ネシタノデアアル、首相ノ斡旋ニ依リテ所謂三黨首ノ會合ナルモノガ出來マ
シタ、其結果トシテ十七億ト云フ大豫算ガ一氣呵成ニ、一瀉千里ニ、極メテ
容易ニ議シセラレマシタ、是ハ一ツノ事實デアリマス、ドウカ御承知ヲ願ヒ
タイ、此事實ヲ首相ハ何ト御認メニナッテ居リマスカ、果シテ衆議院ノ任務
タル慎重審議ト云フコトヲ盡シマシタノデアリマスカドウカ、ソレニ付テ首
相ノ御所見ガ伺ヒタイト、斯ウ聽イタノデス、何モ付度ナドト云フコトトハ
減交渉デアリマス、ソレデソレハ首相ノ御誤解ト本員ハ考ヘル、首相ハ斯ノ
如キ誤解ヲ爲サレタルニ拘ラズ、予ハ衆議院ニ於ケル豫算審議ノ狀態ハ慎重
審議ヲ盡シタ、衆議院ノ任務ヲ遺憾ナク果シタモノト認メルト、斯ウ御答ヘ
ニナリマシタ、本員ハソレヲ以テ満足スルノデス、蓋シサウ云フコトヲ御答
ヘニナルダラウト思ウテ聽イタノデアリマスカラ、サウ云フ御答ヲ得テ本員
ハ満足スルノデアリマス、是カラ御答辯ノ補完ヲ願フノデアリマス、本員ハ
所謂三黨首會合ナルモノハ、只管首相ノ斡旋ニ成ッタモノト心得テ居リマス、
今ニモ半バサウ心得テ居リマス、所ガ何ゾ圖ラム、近頃ニ至ッテサウデハナ
イ、第三者ガ居ル、第三者ノ計畫ニ成ッタモノト云フ噂ガ日々ニ高クナッ
テ來タノデアリマス、全國ニ高クナリツ、アルノデアリマス、事實デアリマ
ス、ソコデ本員ハ曰ク、斯クノノ事實デアリマスガ嘘デアリマセウ、所謂

齊東野人ノ語デアリマセウ、事ヲ好ム者ノ捏造デアリマセウ、ダガ念ノ爲ニ
伺ヒマス、首相ハドウ思召スノデアリマスカ、首相ノ御意見如何、斯ウ聽イ
タ、此間ニ對シテハ「イエス」「ノー」タッタ一言デ御答ガ出來ル、其御答ヲ聽
キタイノデアリマス、是ガ所謂答辯ノ追完ヲ求メルノデアリマス、ソレカラ
外務大臣ノ御答辯ニ對シテハ、大體ニ於テ満足イタシマシタ、殊ニ内政干涉
ト云フコトト、國家トシテ當然行フ所ノ正當防衛ト云フコトハ減交渉デアアル、
斯ウ仰シヤル、誠ニ満足イタシマス、本員ハサウ思ッテ居ル、思ッテ居リナガ
ラ疑ッタカラ御尋ネシタ、ソレカラモウ一ツハ共存共榮ト云フコトデアリマ
ス、本員モ亦共存共榮ノ必要ヲ特ニ認メテ居ルノデアリマス、其所謂共存共
榮ト云フモノハドウ云フコトデアリマスカ、列國ノ對支政策ハ多クハ權利ノ
得喪問題デアアル、我國ノ對支政策ニモ又權利ノ得喪ニ關スルコト少カラズ、
然レドモ我國ノ對支關係ニ於テハ、本當ニ言葉ノ如ク帝國ノ死活存亡ガ懸ッテ
居ルコトト思フ、サウ云フコトハ眼中ニ置カズシテ仰シヤルノデハナイノデセ
ウ、サウ云フ意味ヲ合メテ共存共榮ト云フコトヲ仰シヤルノデアリマセウカ、
然リ、斯ウ御答ヘニナッタ、サウ云フコトヲ眼中ニ置カズシテ共存共榮ヲ言
フナラバ、共存共榮デハナイ、獨存獨榮デアアル、誠ニ我が意ヲ得タルモノデ
アル、満足ニ堪ヘヌノデアリマス、併ナガラ外相ニ向ッテ少シク御尋ネシタ
イコトガアル、未ダ曾テ支那ハ我ニ對シテ、我ノ有スル權利ヲ暴力ヲ以テ奪
還セムト云ハムガ如キコトヲシタ事例ナシ、又斯ノ如キコトヲ計畫シタト云
フコトヲ更ニ聞カス、從テ將來決シテサウ云フ憂ハナカラウ、斯ウ仰シヤル
ヤウデアリマス、所ガ本員ノ御尋ネシタノハ斯ウ云フコトデアアル、所謂專管
居留地、租界ト云フコトハ、立派ナ獨立國內ニアルベキコトデナイ、其實
ヲ支那人ガ眼ヲ醒シテ覺ッテ來タ、覺ッテ來タナラバ何等カノ手段ヲ以テ恢復
スルデアラウ、是ハ認メテ居ル、所ガ本員ノ今回ノ事實ヲ認メマシタ、其認
メマシタ所ニ依レバ、支那ハ英吉利ニ對シテハ、暴力即チ腕力ヲ以テ漢口ノ
租界ヲ奪還シタノデアリマス、色々ナコトヲ言ヘバサウデハナイト云フコト
モ言ヘマセウケレドモ、露骨ニ言ヘバサウデアアル、而シテ南方政府ハ見事ニ

奪還シタ租界ヲ占據シテ居ルノデアリマス、本員ハ極ク露放ニサウ申ス、所
ガ租界ナルモノヲ得タ所以ノ原因ハ何處ニアリマスカ、英吉利ノ租界ヲ持ッテ
居ル原因モ、帝國ノ租界ヲ持ッテ居ル原因モ、蓋シ同一デアリマセウ、本員
ハ其間ニ大差ナイト認メル、サウスレバ英吉利ニ向ッテハ斯ク／＼ノコトヲシ
テ、租界ヲ恢復スルニハ尋常手段デハイケナイ、已ムコトヲ得ズンバ暴力ニ
訴ヘルト云フ決心ヲ、長夜ノ眠カラ醒メ來ッテ所ノ支那人ガ致シタナラバ、
帝國ニ向ッテモ早晚コンナコトヲスルデハナカラウカト、本員ハ衷心配ラシ
マス、ソコニ英國ニ對スルノト我國ニ對スルトニ、何カ著シイ顯著ナ差違ガ
アリマセウカ、其差違アリトシテ安閑トシテ居ルナラバ、所謂恃ムベカラサ
ルヲ恃ムト云フコトニハナリマスマイカ、是ガ御尋ノ趣意デアル、ソレデ更
ニ御尋ラシテ置キマスノハ、英吉利ニ對シテハア、云フコトガ有ッタ、併シ
帝國ニ對シテハ斷ジテアンナコトハ無イカ、ソナコトヲ心配スルノハ杞憂
ダト云ハムガ如キ御考デアリマセウカドウカ、ソレガ伺ヒタイ、ソレカラ外
相ニ對シテハ少シバカリ序デニ御尋ヲ附加シテ置キタイノハ……御答ヲ得バ
満足デアリマス、ソレハ大正四年デアリマシタカ、締結セラレタ所ノ所謂滿
蒙條約デアリマス、詳シク申スト色々ナコトニ互リマスカラ避ケマシテ、滿
蒙條約ノ内容ハ實行ヲ得ナイモノガ澤山アルヤウニ本員ハ見テ居リマスガ、
外相ハドウ御覽ニナッテ居リマスカ、只今實行ヲ得ヌトシテモ追々ニ實行ヲ得
ル見込ガアル、實行スル積リデアル、斯ウ云フ思召デアリマスカ、是ガ一問、
ソレカラモウ一ツハ是ハ具體的ノ御話デアリマスルガ、極ク重要ナコトト思
ヒマスルカラ御尋ネスル、所謂漢冶萍公司ノ御話デアリマス、本員ガ支那新
聞ナドヲ讀ミマススト云フト、國民政府ハ之ヲ沒收シ國有ト爲ス、固ヨリ從來
ノ日本ノ借款ハ之ヲ認メル、而シテ南方政府ノ勢力下ニ在ル各地ノ鐵山ヲモ
加ヘマシテ、新ニ漢冶萍公司ヲ經營スルト云フコトニ聞エマスガ、事實デアリ
マセウカ、事實デアリマスナラバ、之ニ對シテ外相ハドウ云フ御考ヲ有シテ
居ラレマスカ、モウ一ツアリマス、本員ガ承ッテ居リマス所デハ、支那ノ全
體ニ互リマシテ朝鮮人ガ四百万、凡ソ四百万アルヤウデアリマス、サウシテ

其四百万ノ中三百万ハ南北滿洲ニ居ルノデアリマス、是ハ事實ト見テ御イデ
ナサルノデアリマセウカ、又ハ其中多數ノ者ガ蔣介石ノ下アタリニ行ッテ居ル
ヤウニ聞エル、是ハ嘘デナカラウト本員ハ見テ居ル、是等ノ朝鮮人ノ國籍ト
云フモノハ、アラカタ決マッテ居ルノデアリマスカ、決マッテ居リマスナラ
バ、帝國臣民ト看做スベキ者ニ付テハ、凡ソ其保護ガ行ハレテ居リマスヤ否
ヤ、サウ云フコトデアリマス、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ次ニ陸相ニ申上ゲマ
ス、陸相ニ御尋ネハ致シマセヌ、本員ガ御尋ネシマヌヤウナコトニ付テハ、
陸相ノ御苦衷ヲ察シテ居ル、察シテ居ルカラ御尋ネセヌ、少シク露放ニ過ギ
ルカ知レマセヌケレドモ、本員ハ同ジコトヲ年々歳々繰返スノニ付テハ、固
イ決心ガアルカラ繰返スノデアリマス、何レノ日ニカ目的ヲ達セザレバ已マ
ヌト云ハムガ如キ決心デアリマス、ソコデ只今憲兵ヲ存シテ居ラルノハ、
所謂戰時憲兵ガ目的デアル、戰時ニ當ッテ俄ニ必要ヲ感ジテ憲兵ヲ組織セムト
スルモ殆ド不可能デアル、是ハ憲兵ヲ存スル所以デアル、是ハ御苦心ノ存ス
ル所ノ、本員ハ歴史ト沿革トヲ知ッテ居ルノデアリマス、憲兵ハ非常ナ有効確
實ナル警察力デアルニ拘ラズ、幾度カ全廢論ガ起ッタノデアリマス、戰時必要
デアルカラシテ、少クモ根幹トナルベキモノハ置カヌケレバナラスト云フノ
ハ、或ハソレハ議論ノ末デハナカラウカ、ソレハ議論ノ末ト本員ハ思ッテ居
ルノデアリマス、ソレカラ在郷軍人ノ實況モ能ク御存ジデアリマセウ、公開
ノ席デコンナコトヲ申スノハ如何ハシイノデアリマススケレドモ、本員ノ主張
ヲ貫ク爲ニハ、少シ申シテ置キタイノデアリマス、在郷軍人ハ決シテ軍事當
局者ヲ無能ナリトシテ、其能力ヲ疑ウテハ居ラヌノデアリマス、居ラヌノニ
拘ラズ、寧ロ内相ノ管轄ノ下ニ立チタイナゾト云フコトヲ言ッテ居ルノガ、
澤山アルノデアリマス、其原因ハ能ク探ッテ見マス、近年此軍人ト云フモ
ノガ甚ダ難儀ナ境遇ニ立ッタ、從テ縱シヤ充實シタ立派ナコト雖モ、軍人
ノ計畫ト云フモノハ兎角行ハレスト云フヤウナコトガ動機トナッテ、右様ナ
事ヲ言フ者ガアルノデアリマス、是ハ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、サウ云フ
意味ニ於テ申シタノデアルト云フコトダケヲ申シテ、更ニ御尋ネハ致シマセ

ス、ソレカラ今度内相ニ……是ハ御尋デハアリマセヌ、本員ノ御尋ノ趣旨ヲ説明シテ置キマス、内相ハ曰ク、冒險ト云フ言葉ガ見エテ居ルガ蓋シ誤デアラウ、速記ノ誤デアラウ、剛健デアラウト仰シヤッタ、サウデナイ冒險デアリマス、本員ノ意味スル所ノモノハ冒險アル、本員ノ形容詞ガ當デアルカ不當デアルカト云フコトハ、ソレハ御解釋ニ俟ツ、本員ハ冒險ト言ッタ、ソレニモ多少理由ガアル、警察官トカ軍人トカ云フモノハ、其職、任務ガ危険ヲ冒ス等ノモノデアアル、斯ウ云フコトニ本員ハ心得テ居ル、是ハ明カニ現行刑法ノ犯罪ノ成立ノ條等ニ書イテアル筈デアリマス、其或ル程度ノ危険ヲ始終冒サヌケレバナラヌト云フ觀念ガ無イカ、乏シイカ、ソレニ付テ非難ガ續々アル、其事ヲ申シタノデアリマス、ソレカラ併シ内相ハ警察ノ不備、警察制度ノ十分デナイト云フコトヲ、或ル程度ニ於テハオ前ト一緒ニ……オ前ト同様ニ認メテ居ル、斯ウ仰セラレマスカラシテ、或時ニ至ッタナラバ、或ハ本員ノ主張ガ行ハルルヤウニナル、行ハレ得ルヤウニナルノデハナイカ、否、ナルデアラウト確信シテ居ル、ソレデソレダケノコトヲ申シテ止メマス、大體ニ於テ外相、陸相、内相ノ御答辯ニ満足ヲ致シマス、唯總理大臣ニ對シテ只今申シマシタ如ク御答辯ノ補完ヲ願ヒマス、ソレカラ本員ノ御尋イタシマシタコトニ付テハ、忬度ナドト云フコトハ要ラナイ、忬度シテ答ヘルト云フコトハ出來ヌノデアアル、斯ウ仰シタルデアリマス、他人ノ意中ヲ忬度シテ御答ガ願ヒタイナント云フコトハ要求セザルノミナラズ、要求スベキ理由ナシデアリマス、ドウカ其意味ニ於テ……

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 昨日志水君ニ向ッテ答辯ヲ致シマシタ時ニ、私忬度ト云フ言葉ヲ使ッタカドウカ只今記憶イタシマセヌ、是ハ速記録ヲ見マシタナラバ、サウ云フヤウナ言葉ヲ使ッテ居ルカ存ジマセヌガ、私ハ昨日ハ忬度スルト云フ言葉ヲ言ウタヤウニハ記憶ヲ致シマセヌ、志水君ノ御質問ハ、衆議院ガ此度ノ豫算ヲ審議シタノハ、慎重審議スルト云フ任務ヲ盡シタノデアアルヤ否ヤト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマシタカラ、衆議院ガ其任務ヲ盡シタ

ヤ否ヤト云フコトヲ私ガ茲デ答ヘルコトハ出來マセヌ、斯ウハ申上ゲマシタ、併シ若シ政府ガ之ニ對シテドウ見テ居ルカト云フコトヲ御尋ネニナッタト云フナラバ、政府ハ衆議院ハ慎重審議シタモノト見テ居リマス、斯ウ答ヘタノデアリマス、其間ニ私ガ忬度ト云フ言葉ヲ使ッテ居リマス、ドウデアリマス、私ハチットモサウ云フ記憶ガアリマセヌ、今モ志水君ガ頻ニ忬度々々ト仰シタルノデ、私ニハ何ノコトデアルカ初ハ分ラナカッタ、察スルニ衆議院ノ意ヲ私ガ忬度シテ之ヲ答辯シマスナラバ斯ウダト言ッタヤウニ、御考ヘニナッタノデアアルマイカト思ヒマスガ、私ノ申シタノハ只今申ス通デアリマス、衆議院ノ行動ヲ政府ガ批評のニ答辯スルト云フコトハ困難デアリマス、サウ云フコトハ致サヌ方ガ宜イト思フ、併シ私ガドウ見テ居ルカト云フ御尋ナラバ、私ハ慎重審議ヲシテ能ク其任務ヲ盡サレテ居ルコトト見テ居リマス、斯ウ云フ意見ヲ述べタノデアリマス、ソレカラ私ガ政友會總裁及政友本黨總裁ニ會見ヲ申込ンデ、サウシテドウニカシテ豫算ノ成立ヲスルヤウニ致シタイモノダト云フ誠意ヲ披瀝ヲ致シテ其考慮ヲ求メマシタ、之ニ付テ誰カガ幹旋シテ斯ウナッタノデアアルト云フ噂ガアルガ、ドウデアアルカト云フ御尋デアリマス、左様ナコトハアリマセヌ、私ノ發意ニ依ッテ兩總裁ニ會見ヲ求メテ、サウシテ過日カラ申上ゲテ居ル通りナ話ヲ致シタノデアリマス、是ダケヲ御答ヘ致シマス

○志水小一郎君 最早總理大臣ニ向ッテ追窮スルヤウナコトハ斷ジテ致シマセヌ、斷ジテ致シマセヌ、併ナガラマダ本員ノ了解ニ苦ムコトヲ仰シタルデアリマス、忬度ト云フ言葉ヲ用キタカ用キナカッタカ、用キナイヤウデアアル、サウ云フ枝葉末節ナコトヲ伺フノデアリマセヌ、忬度ト云フ言葉ヲ御使ヒニナラヌナラバ、第三者他人ノ意中ヲ忬度シテ、推測シテ、ドウシテ答ガ出來ヤウカ、斯ウ仰シヤッタノデアリマス、ソレダカラ本員ハ言ハズ、何モソナ御尋ハ致シマセヌ、衆議院ガ斯ノ如キ狀態ヲ以テ、此重大重要ナル豫算ヲ審議シタト云フコトハ一ノ事實、事實デアリマス、此事實ヲ首相ハ何ト御認メニナッタカ、他人ノ意ヲ忬度シテ御認メニナッタカナドト云フヤウナコ

トハ決シテ言フ筈ガナイ、首相ハ此事實ヲドウ御認メニナッタカ、斯ウ云フ意味デアリマス、併シ是ハ誤解ニモ拘ラズ、見事慎重審議ノ任務ヲ盡シタト明言サレマスカラシテ、ソレデ満足ヲ致シマス、ソレカラ、モ一ツハ此ヒドク喧マシクナリ來ッタ所ノ此三黨首ノ會合ト云フモノハ、第三者ガアッテ計畫シタノデハナイ、全ク自分ガヤッタノデアル、斯ウ明言セラレルカラ、是モソレデ満足イタシマス、併シ本員ハ内心氣遣ッテ居ルノデアリマス、後日何等カノ關係カラシテ、事實ノ真相ガ暴露シ來ルコトデハナイカト云フヤウナコトヲ思ッテ居ル、是ハ餘計ナコトデアリマスカラ是ハ言ヒマセヌ、唯是ハ全ク捏造ナリ虚構ナリト云フ……サウ云フコトハ斷ジテナイト云フ御答辯ヲ得マシタカラ満足イタシマス、ソレカラ外務大臣ニ對シテ、英吉利ト日本ハ違フノデアアル、英吉利ニ向ッテハアンナ事ガアッタ、日本ニ對シテハ萬々アンナ事ハナカラウト思フ、ナカラウト信ズル、斯ウ仰シイマシタコトニ付テ、尙ホ本員ハ少シク懸念ニ存ジマスカラ、タッタ一言其事ノ御答辯ヲ煩シタイノデアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今志水君ヨリ再度ノ御質問ノ第一點ハ、支那ノ官憲ガ暴力ヲ以テ、日本ノ專管居留地ヲ回收スルト云フヤウナコトハ將來斷ジテ無い、ト云フコトヲ言ヘルカト云フコトデアリマス、私ガ先刻申上ゲマシタコトハ、今日マデ左様ナ計畫ヲ爲シタコトハナク、又今日ニ於キマシテモ左様ナ計畫ヲ爲シテ居ルコトヲ承知シナイ、左様ナ計畫ガアルモノトハ信ジナイト云フコトヲ申シタノデアリマス、將來永劫未來ニ斷ジテ斯ウ云フ事ガ無いト云フコトヲ保證ガ出來ルカト云フ御話デアレバ、是ハ非常ニ困難ナコトデアリマシテ、私ハ之ヲ保證シ得ル地位デアリマセヌ、何レニ致シマシテモ、我々ハ支那ノ時局ノ推移ト云フコトニ付キマシテハ、常ニ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ、出來得ルダケノ聯絡ヲ取ッテ其發展ヲ見テ居ル次第デアリマス、第二ニ滿蒙條約ノ、即チ大正五年ノ滿蒙條約ノ規定ノ中デ實行サレテ居ナイモノガ澤山アルト云フコトヲ御指摘ニナッタノデアリマスガ、是ハ恐ラク

商租問題ノ事ヲ仰セラレタノデアラウト考ヘマス、滿蒙條約規定ノ中ニ澤山實行サレテ居ラヌ點ガアルト私ハ了解イタシテ居リマセヌ、商租問題ハ確カニ解決シテ居ラヌト云フコトハ事實デアリマス、此問題ハ御承知デモアリマセウガ、極メテ込入ッタ問題デアリマシテ、支那ノ方面カラ見マスレバ、所謂治外法權ノ問題ト密接ナ關係ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、商租權ヲ得タ土地ニ日本人ガヤッテ行ッテ、民事上ニ於テモ刑事上ニ於テモ、支那ノ法權ニ服シナイ、斯ノ如クニ外國人ガ支那ノ内地ニ入ッテ商租權ヲ持ツト云フコトハ非常ニ困難ナル、認メルコトハ困難デアルト云フコトヲ、支那ノ地方官憲ハ言ッテ居ルノデアリマス、此問題ノ解決ヲ期セムガ爲ニ、度々奉天ニ於テ話合ヲ始メタノデアリマスケレドモ、今日迄ハ不幸ニシテマダ纏マッテ居ナイノデアリマス、長イ間掛ッテ度々談判ヲ致シテ、是ガ纏マッテ居ラヌト云フコトデ、如何ニ此問題ガ込入ッテ困難デアルカト云フコトヲ御了承下サルデアラウト思フノデアリマス、決シテ我々ハ此問題ヲ等閑ニ付シテ居ル譯デハアリマセヌ、出來得ル限り此問題ヲ何トカノ方法ヲ以テ解決イタシタイト云フ覺悟デハ居ルノデアリマス、ソレカラ第三ニ漢冶萍公司ノ事ニ言及ニナリマシテ、新聞ノ傳ヘル所ニ依レバ、國民政府ハ漢冶萍公司ノ資格ヲ變更シ、之ヲ國有ト爲シ、尙ホ此事業モ擴張スルト云フ計畫ガアル、尤モ日本ノ從來持ッテ居ッタ此權利、即チ日本ニ對スル契約上ノ權利義務ト云フモノハ其儘存續シテ行クト云フコトデアルト云フコトガ新聞ニ現ハレテ居ッタガ、事實デアアルカト云フコトデアリマス、今日マデ國民政府ハ、漢冶萍公司ノ資格ノ變更竝ニ事業ノ擴張ニ關シテ、日本ノ方面ニ向ッテ話ヲ持掛ケテ來タコトハナイノデアリマス、國民政府當局ノ一部分デハ、斯様ナ計畫ヲ考慮イタシテ居ルカモ分リマセヌケレドモ、今日迄マダ外部ニ發表サレタ事實デハナイノデアリマス、日本ノ方ニ向ッテモ何等打合セモアッタ問題デハアリマセヌ、ソレカラ第四ニ支那ニ在住シテ居ル朝鮮人ガ四百万人ニ上ボリ、其中ノ三百万人ハ南北滿洲ニ居ル、尙ホ多數ノ人間ガ國民軍ニ加ハッテ居ルト云フ事實ノ眞偽如何ト云フコトデアリマス、此數ハ私ノ了解イタシテ居ル所トハ、大イニ異ナッ

テ居リマス、南北滿洲ニ居リマス朝鮮人ハ恐ラクハ百万ヲ出デテ居ナイト考ヘマス、或ハ六十万ト云フ人モアリ、或ハ七十万ト云フ人ガアリマスケレドモ、百万内外ハ居ルデアリマセウガ、ソレヨリ以上ヒドク超過シテ居ルトハ考ヘマセヌ、其外ノ支那ノ部分デ、是ハ纏マツテ朝鮮人ガ居ル所ハサウ無イノデアリマス、廣東方面ニ居リマス朝鮮人ノ中デ、或ハ間接直接ニ國民軍ニ關係ヲ有シ、或ハ所謂軍官學校、江浦ノ軍官學校ナドニ這入ッテ居ル者ガアルコトハ是ハ事實デアリマス、我々ノ知ッテ居ル所デハ、是ハ數ハ二百名ヲ超エテ居ナイト云フコトデアリマス、是等ノ朝鮮人ノ國籍如何ト云フコトガ、最後ノ御質問デアリマシタ、御承知ノ如ク朝鮮ニ於キマシテハ、未ダ國籍ノ離脱ヲ承認スル所ノ法規ガアリマセヌ、從テ朝鮮人ガ外國ノ國籍ヲ取得イタシマシテモ、朝鮮ノ即チ日本臣民トシテノ國籍ハ離脱イタサナイノデアリマス、若シ正式ニ外國ノ國籍ヲ取得イタシマスレバ、是等ノ朝鮮人ハ所謂二重國籍ニナッテ居ルノデアリマス、是ガ御質問ノ要點デアッタト考ヘマス

○志水小一郎君 一言申シテ置キマスガ、南方ガ英吉利ニ對スルガ如ク暴力ヲ以テ租界ヲ回復スルト云ハムガ如キコトハ萬ナカラウト思フ……斯ウ云フ風ニ御答辨ニナッタヤウニ考ヘマシタカラ伺ヒマシタ所ガ、外相ハ聊カモ骨テサウ云フコトハ無カッタ、將來如何ト云フコトナラバ分ラヌ、斯ウ仰シタルノデアリマス、ソレナラバ本員モ分ラヌト云フコトニ付テハ或程度マデハ御同感デアリマスガ、本員ハモウ一步進ンデ或ハ免レマイ、斯ウ思フノデアアル、サスレバ其準備ヲシテ置イテ、必要ノ場合ニハ武力ヲ以テ相當ノ事ヲスルト云フノハ、國家トシテ當然ノ事デアアル、又支那ノ官憲政府ノ爲ニ利益デアアル、絶東ノ治安ノ爲ニモ利益デアアル、斯ウ云フ意見ヲ本員ハ持シテ居ルノデアアル、決シテソレガ源トナッテ大戦争ガ勃興スルナドト云フコトハ、チットモ本員ハ思ハヌ、却テサウ云フ決心ガアッタナラバ、戦争ナドハ起ラヌダラウト思フ位デアリマス、併シ是ハ意見デアリマス、外務當局ノ意見ト或ハ本員ノ意見ガ違フト云フコトニ歸著スルカモ知レヌノデアリマスカラ、此一言ヲ以テ終

リマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ豫算ニ關係イタシマシテ決シテ諄イコトハ申シマセヌガ、二三、本員ノ重要ト認メタル點ヲ質問イタシテ置キマス、第一ノ質問ハ豫算ヲ凡ソ議スルニ當リマシテハ、誰ガ此豫算ヲ實行スルノ責ニ任ズルカト云フコトガ、一番大事ノ問題デアリマス、過日衆議院ニ於テ三黨首領ノ妥協……其結果、政府ノ不信任ト云フ……不信任案ヲ撤回セラレ、茲ニ其總裁ノ位置ニ在ル田中男爵モ御出デアリマスガ、其不信任案ヲ撤回ニナリマシタ、而シテ此豫算ニ對シテハ、一錢一厘修正ナシニ衆議院ハ通過ニナッタノデアリマス、凡ソ議會ノ事務トシテ、最モ重要ナルモノハ豫算デアアル、其豫算ハ單ニ數字ヲ議スルノデハナイ、誰ガ之ヲ實行スルカト云フコトガ目的デアリマス、妥協……所謂三黨首領ノ妥協成立後、衆議院ニ於ケル各政黨ニ於テハ、ソレハ報告モアリ演説モアリ、又貴衆兩院ニ於テ種々ナル質問ガ起ッテ居リマスルガ、政府ハ第五十二議會閉會後速ニ辭職スルデアラウト云フヤウナ風説デ、又ソレヲ多クノ人ガ信ゼムトシツ、アルカノ如クデアアル、此見地カラ申スト、至ッテ現内閣ノ影ガ薄イ、斯ウ云フコトニナル、デ今日豫算ノ審議ニ入ラムトスルニ當リマシテ、貴族院トシテハ甚ダ迷惑ナ感ガ致スノデアアル、誰ヲ相手ニシテ此豫算ヲ議スルカ、現内閣ハ五十二議會閉會後辭職スル、斯ウ云フコトデアルナラバ、此豫算ノ實行ハ誰ガスルカト云フコトニナリマスルノデス、故ニ私ノ間ハ簡單デアリマスルガ、若槻君ハ辭職スルノカ辭職シナイノカト云フコトナンデス、詰リ……先日兩院ノ議員ノ質問ニ對シテ、妥協ト云フコトニ付テハ、新聞ニ出タ外ニハ何ニモナイ……何ニモナイ、又苟クモ自分ガ陛下ノ信任ヲ奉ジテ此端統統督ノ任ニ當ッテ居ル以上ハ、サウ進退ヲ苟クモスベキモノデハナイ、決シテ辭職ナゾト云フ事ヲ内約スルト云フコトハナイ、併ナガラ結果ハ内約ト同ジコトニナリハセヌカト云フコトニ今思ハレルノデアアル、デ私ノ質問セムト欲シマスルノハ、若槻首相ハ辭職ナサルノカ、或バドコマデモ、此我々ガ議サムトスル所ノ豫算ニ付テハ、責任ヲ持ッテ實

行ノ任ニ當ラレルノデアルカ、此事ヲドウシテモ本員トシテハ聽イテ置カナケレバナラス、是ガ首相ニ對シテノ第一ノ質問デアリマス、其次ハ過日米國ノ大統領ガ第二ノ海軍制限ト云フコトガ致シタイト云フ意思ヲ以テ、此際ハ華盛頓ニ非ズシテ「ゼネバ」ニ前ノ海軍制限ニ調印シタ各國カラ互ニ代表者ヲ出シテ、協議イタシテ見ヤウデハナイカ、斯ウ云フ意味ノ案内狀ガ日本ニモ參リ、其他ノ關係國ニモ參リ、又米國大統領ノ「コンGRES」ニ對シテノ教書モ新聞ニ出テ居リマス、其事ニ付テハ政府ニ於テ目下慎重ニ御考究中ノコトト思ヒマス、是等ニ對シテノ御回答ハ十分慎重ナル御審議ヲ必要ト思ヒマスカ、ソレニ付テ御尋イタシタイノハ、此豫算ニ含まレテ居リマスル二億六千万ノ海軍補助艦艇ノ問題デアリマス、若シ第二回ノ海軍ノ制限ガ可能性ノモノデアリトスレバ、此二億六千万ノ豫算ヲ今茲デ急速ニ決議スルノ必要ハナイヤウニモ思ハレル、或ハ可能性デアリ、可能性デナイニ拘ラズ、此二億六千万ノ補助艦艇費ト云フモノハドウシテモ必要デアル……本員ノ見ル所ヲ以テスレバ、國ニハ各、其國防ノ相當ナル力ガ備ハッテ居ラナケレバナラスノデアリマスルガ、併シ又列國ガ互ニ協議シテ互ノ力ヲ落シテ行クナラバ、日本ガ今日相當トシテ居ル陸海ノ軍備モ亦、列國ノ減少ノ程度如何ニ依ッテハ、減少シテ宜イモノカトモ考ヘラレル、サウシテ見ルト此國費多端ノ今日ニ於テ、二億六千万ノ補助艦艇費ヲ急速ニ決議セナケレバナラスト云フ必要モ或ハ減ズルカトモ思ハレル、デ私ハ此點ニ付テ總理大臣又海軍大臣ガ如何ニ考ヘテ居ラレルカト云フコトノ御尋ニ對スル御答ヲ得テ置キタイノデアリマス、ソレデ第三ト致シマシテハ、米國大統領ガ今日此列國ノ軍備制限ニ付テ盡力セラレルト云フコトハ、實ニ結構ナコトト本員ハ思フ、又米國大統領ノ外ニハ、今日斯ル發議ヲシテ列國カラ互ニ同意ヲ得テ其目的ヲ達スル人ハ先ヅ少ナイト思フノデアリマス、無イトハ申セマスマイガ、米國大統領ノ外ニ斯ル發議ヲ發シ、又快ク列國ノ同意ヲ得テ其目的ヲ遂行シ得ル人ハナイト思フ、其國ノ地位ト云ヒ、其國ノ平和ヲ愛スルノ志ト云ヒ、又其國ノ富ノ力ト云ヒ、相當ナルコトデアラウト思フノデアリマスルガ、ソレニ付テ本員ノ考ヘマスルノニ、

米國ノ大統領、米國ノ政府、米國ノ國民ガ平和ヲ愛セラル、コトハ、最モ我我ノ歡迎スル所デアリマスルガ、世界ノ平和ト云フモノハ、先ヅ此安全保障、安全ノ保障ト云フモノガ無イト軍備ヲ縮小スルト云フコトハムヅカシイ、軍備ヲ縮小シテ世界ノ平和ノ安全ヲ保ツト云フコトモ考ヘ得ラレヌコトモアリマセヌ、餘リニ軍備ガ過大ニナルト云フト、ソレカラ平和ガ破レルト云フトモアリマスガ、併ナガラ寧ロ列國ノ爭トナルベキ問題ガ先ヅ除カレ、又平和ガ安全ニ保障セラレルト云フトコトノ事實ガ其處ニ存在シテ參レバ、軍備ノ縮小ト云フコトハ自然ニ樂ニナッテ來ル、又行ハレル風ニナッテ來ルノデアアル、デ今世界列國間ニハ種々平和ヲ脅カスヤウナ問題ガアリマスケレドモ、ソレ等ハ先ヅ列國間ニ於テ段々ト解決シテ行カナケレバナラスガ、其中ニ於テ最モ此安全ノ保障ニ、平和ノ安全保障ニ大事デアルコトハ何デアルカト問ウタナラバ、米國ガ國際聯盟ニ加入スルト云フコトガ一番必要デアル、「ウイルソン」大統領ハ歐羅巴大戰後ニ於テ再ビ復タ斯ノ如キ騷動ガ起ッテハ實ニ人類ノ不幸デアルト云フコトニ考ヘ及ンデ、同時ニ列國ノ代表者ト協議ノ結果、國際聯盟ト云フモノガ出來タ、然ルニ當時人口ノ數ニ於テ、又富ノ力ニ於テモ、總テノ點ニ於テ優ッテ居ル米國ガ、「ウイルソン」大統領ノ希望ニ反シテ國際聯盟ニ加入ヲ拒絕シタノデアアル、ソレ故ニ今日ノ國際聯盟ト云フモノハ殆ド其目的ノ半分ヲ達スルコトガ出來ヌヤウニナッテ居ル、米國ト云フモノガ此聯盟ノ外ニアル、米國ガ聯盟ノ外ニアルト云フコトガ、此平和保障安全ノ機關タルベキ國際聯盟ノ力ヲ非常ニ薄弱ナラシメテ居ルノデアリマス、國際聯盟ノ力ガ強大ニナレバナル程、平和保障ノ安全ト云フモノハ茲ニ確保セララルノデアアル、故ニ米國大統領ニシテ海軍ノ制限ヲモシヤウデハナイカト云フ意思ヲ發表シ、列國ニ勸誘セラル、程、ソレ程ニ平和ニ深切デアラナラバ、今一步進ンデ此米國ガ先以テ國際聯盟ニ加入スルト云フコトガ最モ大切デハナイカト、斯ウ思フノデアアル、米國ハ米國ノ意見デアルカラ、ソレハ米國ノ勝手ダト云ヘバソレ迄デアリマスガ、併ナガラ米國大統領ガ斯クマデ平和ニ深切デアラナラバ、モウ一步進ンデ此國際聯盟ト云フモノヲ鞏固ナルモノニ

セラル、ト云フコトガ、何ヨリ大切ナンデアル、是ハ私ノ一己ノ論ニアラズ
シテ、米國ノ中ニモ其議論ト云フモノガ非常ニ強イノデアルガ、今ヤ第二ノ
海軍制限ニ付テ相談ヲ開カル、今日ニ方ッテハ、帝國政府トシテハ、此點ニ
付テ十分ナル注意ヲ米國ニ御申通ジニナッテハ如何デアルカ、當リ前ノ事デハ
アリマスケレドモ、米國ノ深切ナル意思ニ對シテハ、十分ニ帝國政府ノ考ヲ
申述ベタラ宜カラウト思フ、新聞ニ依リマスレバ、新嘉坡ノ英國ノ軍港モ止
メチャドウダ、布哇ノ米國ノ要塞其他モ、是レ以上ニ力ヲ増サヌヤウニシチャ
ドウカ、斯ウ云フコトモ條件ニシテモ宜カラウト云フヤウナコトガ、新聞ニ見
受ケテ居リマス、ソレ等ハマア相談ノ結果トシテ、出來レバ結構ナコトデア
リマスケレドモ、ソレヨリモ國際聯盟ノ中ニ米國ガ這入ルカ這入ラヌカト云
フコトガ、一番今日平和ノ安全ヲ保障スル上ニ於テ懸ッテ居ル最も重大ナ問
題ナンデアル、ソレヲ後ニシテ先ヅ此枝葉ノ問題ニ著手スルト云フコトハ、
私ハ少シク顛倒シタ事柄デアルマイカト思フ、此點ハ帝國政府ハ如何ナル考
ヲ持タレルカ、十分ニ米國政府ト意見ノ交換ガ有ルノカ、無イノカ、私ハ交
換ヲシテ欲シイト考ヘルノデアリマス、次ハ此軍備ノ制限ニ付キマシテハ、
滿蒙ノ問題ト云フモノノ、帝國ノ現在ノ地位ヲ明カニシテ置クト云フコトガ、
最も大切デアラウト思フ、今日ノ支那ノ有様ハ殆ド大混亂ノ有様デアリマス、
歴史ニ於テモ稀ニ見ルノ混雜、南ト北ニ政府ガ有ルカノ如ク、又無イカノ如
ク、條約モ法律モ殆ド行ハレテ居ルノカ、行ハレテ居ラヌノカ、アノ大ナル
面積ヲ有シ、アノ大ナル人口ヲ有スル、地球ノ一部分ト云フモノハ、大混亂
デアル、是ハ恐ルベキ禍源ガ之ニ伴ッテ居ル、歐羅巴ノ大戰ガ濟ミマシタ後
ニ、次ノ大戰爭ハ極東ニ於テ起ルト云フコトヲ豫言シタ人ガ段々アリマスル
ガ、今日ノ支那ノ現狀ガ實ニ此危險ナル狀態ノ裡ニアルノデアリマスルカラ、
何處ヘ飛火スルカ分ラナイ、大ニ列國間ニハ注意ヲ要スル時代デアリマスル
ガ、殊ニ帝國トシテハ此際滿蒙ノ地位ト云フコトヲ、明カニ列國、就中露國、
支那ニ知ラシメテ置クト云フコトガ必要デハナイカ、御承知ノ通ニ只今モ外
務大臣ノ御答辯ノ中ニモアリマシタ如クニ、滿蒙ニハ帝國臣民ガ百万人散在

シテ居ル、又過日實業家ノ聯合會デ調ベタ所ニ依ッテ見ルト、支那ニ對スル
日本人ノ資本ヲ投ジテ居ルノガ二十億ノ餘ニナッテ居ル、其外、銀行等カラ
融通シテ居ルノガ七億、ザツト三十億ノ資本ガ投ゼラレテアル、其大部分ガ
滿洲ニ投ゼラレテ居ルノデアリマスルカラ、此滿洲ノ利害關係、即チ帝國ノ
經濟關係ト云フモノハ、殆ド密著シテ居ル、是ハ到底切離スコトガ出來ナイ、
若シ此滿蒙ノ經濟關係ヲ切離サムトスル者ガアッタナラバ、是ハ帝國ノ存立ヲ
脅カスモノデアルカラ、帝國ハ全力ヲ擧ゲテ、最後ノ一人、最後ノ一錢ニナ
ルマデ、是ハ爭ハナケレバナラヌノデアリマス、是ハモウ當然ナコトデアル、
併ナガラソレ等ノコト、即チ滿蒙ニ於ケル事柄ハ、支那ノ大混亂ノ狀態ト共
ニ混同セラレテ考ヘラレテ居ル、ソレガ爲ニ誤レル事カラシテ、ソコニ不
合
理ナル要求ヲ以テ帝國ノ地位ヲ危ウセムトスルヤウナ事柄ガ起ラヌトモ云ヘ
ナイ、就中支那、露西亞兩國ハ、國際信義ノコトニ付テハ甚ダ世間ノ疑ヲ惹
イテ居ルノデアリマス、現在、支那政府ガドウ云フ事情デアルカニモ拘ラズ、
條約面ニ許シテアル所ノ租界ヲ、力ヲ以テ奪回スルトカ、或ハ條約ノ明文ニ
モ拘ラズ、二分五厘ノ課稅ヲスルトカ、斯ウ云フヤウナ事柄モアリ、又露國
ト致シマシテハ、國際信義ノコトニ付テ、露國ト日本トノ間ニ、極ク近ク條
約ノ出來マスル時ニ、非常ナル問題ガアッタ、露國ト支那ト兩國ハ、甚ダ言
フハ憚ル譯デアリマスケレドモ、國際信義ノ點ニ付テ世界ニ疑ハレテ居ル、
日本國ガソレニ對シテ多少ノ疑ヲ持ツト云フコトハ已ムヲ得ヌ、此滿蒙ニ於
ケル帝國政府ノ地位ヲ明カニシテ、我々ハドウモ滿蒙ニ於ケル帝國政府ノ條
約其他合理的ノ現在ノ地位ト云フモノハ、寸毫モ是ハ讓ルコトハ出來ナイ、
私共マア滿蒙ト云フノハ、以前ニ於テハ南滿洲トカ、內蒙古トカ云フコトデ
アリマシタガ、今日ニ於テ滿蒙ト云ヘバ、北滿ヲモ含ム滿洲全部ト、內蒙古
ト云フモノハ、今日全部日本人ノ勢力、其處ニハ即チ帝國臣民ノ多數ノ者ガ
這入ッテ居ル、色々ナコトガゴザイマス、固ヨリ露國ガ「ソビエツト」政府ヲ
組織シテカラ、支那ニ全然滿洲ノ權利ヲ還付シマシタ後、只今鐵道ニ付テ持
テ居ラレル、即チ現存シテ居ル條約ニ依ッテ持ッテ居ラレルコトニ付テハ、毫

モ異存ハナイ、併ナガラ今ノ現状以上ニ此滿蒙ニ付テ、露國ガ何等カ要求ヲ持ッテ居ルナラバ、是ハ支那モ同意スルコトモ出來ヌデアラウト思フシ、又領土保全ト云フコトニモ反スルコトデアラウト思フデアリマス、要スルニ滿蒙ト云フモノト帝國トノ關係、此滿蒙ニ對スル帝國ノ關係ガ如何ニ密著ナル經濟上ノ利害ヲ持ッテ居ルカ、之ニ對シテ如何ニ國民ガ考ヘテ居ルカト云フコトヲ、誤解ノナイヤウニ、列國、就中露國、支那ニ明瞭ニシテ置クト云フコトガ、今日ノ如キ混沌タル支那ノ狀態ノ下ニ於テハ、甚ダ必要ナコトト思フ、ソレ等ノコトニ付テハ、政府ハ遺憾ナク手續ヲ取ッテ居ラレルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、今一ツ簡單ニ、是デ私オ仕舞ニシテ置キマス、

是ハ鐵道ノ問題ニ付テ簡單ニ御尋ネ致シマスルガ、目下新聞ノ報道スル所ニ依リマスレバ、北越地方ハ非常ナル大雪、ソレガ爲ニ地方官、市町村吏員、又地方ノ有志、青年團、在郷軍人、又軍隊、就中鐵道ノ從業員諸氏ガ、非常ナル苦痛ヲ冒シテ奮闘努力、交通ノ速ニ開通スルヤウニ、又死傷者ノ救済ニ奔走セラレテ居ルト云フコトハ、其勞苦ニ對シテハ本員ハ多大ノ感謝ノ念ニ堪ヘナイノデアリマス、サリナガラ、サリナガラ鐵道大臣ニ對シテハ一言セザルヲ得ヌ、ト申スノハ、斯カル大キナル鐵道豫算ヲ年々御用キニナッテ居ッテ、雪ガ降レバ直チニ交通ガ斷レル、新聞ノ報道スル所ニ依レバ、高田ノ聯隊ニハ糧食ガ絶ユルト云フコトデアアル、大切ナル軍隊ノ此聯絡ガ切レルト云フヤウナコトハ、ドウモ何ヲ鐵道大臣ハ此豫算ヲ以テシテ居ラレルノデアアルカ、鐵道改良費ト云フモノハ隨分大イナル金額ガ此協賛ヲ經テアル、其鐵道ノ改良費ヲ十分ニ御用キニナッテナラバ、斯カル交通ガ幾日間モ杜絶スルトカ、又旅客ガ何百人モ、數日間雪ノ中ニ埋没スルトカ云フコトハ、絶對ニ無カラシムルト云フコトハ……ソレハモウ天災地變ハ測ラレヌコトデアリマスケレドモ、斯ウドウモ續々起ルト云フコトハ何タルコトデアアルカ、甚ダ鐵道大臣ノ責任ヲ問ハザルヲ得ヌ、デ私ハ此鐵道豫算ヲ議スルニ當ッテ、如何ナルコトヲ鐵道大臣ハ、是等ノ事柄ニ付テ措置ヲ取ラレタカ、又既往ニ於ケル鐵道ノ設備ニ付テ缺點ガアッタノデハナイカ、其點ヲ明カニ御答辯ヲ願ヒタイ、私ハ

此從業員其他ノ人々ガ、互塞ト戰ヒ、交通ノ速ニ開カレ、人命ノ救助ニ奔走セラレルト云フコト、是ハモウ多大ノ感謝ヲ表スル、同情ニ堪ヘヌ、ケレドモ鐵道大臣ノ鐵道ノ設備ニ對スル不完全ナルコトニ付テハ、大ニ疑ハザルヲ得ヌデアリマス、是ダケヲ質問イタシマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今阪谷男爵ヨリ、私ガ辭職ヲスルト云フ風説ガアル、此事ニ付テ若シ左様ナ事デアラナラバ、目下提出シテアル所ノ豫算案ヲ何人ガ責任ヲ負ウテ執行スルカ分ラヌコトニナル、故ニ審議ノ上ニ甚ダ不便デアルト云フコトデ御質問ニナリマシタ、阪谷男爵ノ御述べニナッタヤウナコトハ全然風説デアリマシテ、私辭職スル考ハ持ッテ居リマセヌ、從テ此豫算案ハ責任ヲ以テ執行ニ當ル積リデアリマス、第二ノ御質問ハ、此度亞米利加ガ軍備縮小ノ提議ヲシタ以上ハ、只今豫算ニ載ッテ居ル所ノ海軍補助艦艇ノ建造費用ハ、或ハ急ニ之ヲ議決シテ置カヌデモ宜クハナイカ、ト云フ意味ノ御尋デアリマシタ、亞米利加ノ提議ニ對シテハ、過日私ハ本議場ニ於テ御答辯申上ゲマシタ通り、軍備ノ競争ヲ避クルガ爲ニ、公正ニシテ且ツ實際的デアアル軍備制限ノ方法ヲ發見スルガ爲ニ、會議ヲ開イテ意見ノ交換ヲスルト云フコトハ、主義ニ於テ私共反對スベキコトデナイト考ヘテ居ルノデアリマス、從テ政府ハ此提議ニ付テ不同意アル譯デハアリマセヌガ、此提議ハ色々ナコトヲ含ンデ居リマシテ、之ニ付テハ政治的ニ且ツ専門的ニ考究セナケレバナラスコトガ多イノデアリマシテ、目下考中デアアルノデアリマス、然ルニ豫算ニ計上シテアリマスル所ノ海軍ノ補助艦艇建造費ナルモノハ、屢々説明ヲ致シマシタ通り、日本ノ現在ノ海軍ノ勢力ヲ其儘維持スルガ爲メ必要ナルコトデアリマシテ、茲ニ御協賛ヲ受ケテ之ニ著手スルト云フコトガ現在ノ海軍勢力ヲ維持スルト云フコトニ必要デアアルノデアリマス、而シテ現在ノ海軍ノ勢力ハ現在ノ狀態ニ於テハドウシテモ之ヲ維持セヌケレバナラスノデアリマス、故ニ會議ノ提議ガアリマシタカラト云ウテ、此決定ヲ延バスト云フコトハ、國防ノ上ニ於テ私ハ宜シクナイト考ヘルノデアリマス、會議ニ對

スル帝國政府ノ回答ハ、何レ不日決定スル考デアリマスガ、其事ノ如何ニ拘ラズ、豫算ニ計上セラレタ海軍ノ補助艦艇建造費ニ付テハ、此議會ニ於テ是非御可決アラシコトヲ望ム次第アリマス、第二第三ノ御質問ハ、私ガ御答辯申上ゲルヨリモ、外務大臣ヨリ答辯イタシタ方ガ便宜デアラウト思ヒマスカラ、外務大臣ノ答辯ニ讓ルコトニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマシテ午後ハ一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時二十二分休憩

午後一時三十九分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ送付セリ

外國官廳ノ用地トシテ貸付スル國有財産ニ關スル法律案

本日請願委員長ヨリ大橋新太郎君ヲ第一分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 先刻ノ阪谷男爵ノ御質問中、外交ニ關係シタ問題ニ付キマシテ、私ヨリ大體御答ヲ申上ゲマス、御質問ノ第一點ハ、今回米國ノ大統領ガ第二ノ軍備縮小ノ會議ヲ提唱イタシマシタコトハ誠ニ然ルベキコトデアアル、是ト同時ニ平和確保ノ目的ヲ達セムガ爲ニハ、列國ノ間ニ平和ノ保障ト云フモノガナクテハナラナイ、列國間ニ平和ノ保障ガナイト云フト、軍備縮小ニ付テ到底満足ナル協定ヲ遂ゲ得ナイモノデアアル、此平和ノ保障ヲ十分ニスル爲ニハ、ドウシテモ國際聯盟ヲシテ益、有力ナル機關タラシムル必要ガアル、國際聯盟ヲシテ有力ナル機關ニナラシムルニハ、米國ガ

國際聯盟ニ加入スルト云フコトガ最モ望マシキコトデアアル、從テ政府ハ米國ノ聯盟加入ヲ勧誘スルノ目的ヲ以テ、何等カノ手段ヲ取ルノ意思ガナイカト云フコトデアリマス、米國ガ聯盟ニ加入スルト云フコトガ、國際聯盟ノ機能ヲ増シ、平和ノ保障ヲ一層強クスルモノデアルト云フコトニ付キマシテハ、私ハ阪谷男爵ノ御意見ニ對シテ全然同感ヲ有スル者デアリマス、併ナガラ米國ニ於ケル國際聯盟加入ノ問題ハ、同國ノ國內問題トシテ極メテ複雑ナル行掛リト歴史ヲ持ッテ居ルコトハ、阪谷男爵ノ能ク御承知ノ通りデアリマス、此問題ノ爲ニ、米國ノ大統領ノ選舉ヲ爭フ上ニ於テ、一ツノ政綱トナッタ大問題デアリマス、今日ノ共和黨ノ政府ニ於キマシテハ、國際聯盟ニ加入セザルコトヲ一ノ政綱ト致シテ、大統領選舉ノ場合ニ爭ッタデアリマス、今日ノ場合ニ於キマシテ、外國ガ、日本其他如何ナル外國モ、米國ニ對シテ國際聯盟加入ヲ勧誘スルト云フガ如キコトハ、何等其目的ヲ達スルノ望ナキノミナラズ、却テ問題ヲ益々複雑ナラシメ、惡イ結果ガ起ッテモ、好イ結果ハ起リ得ナイト私ハ信ズル者デアリマス、從テ政府ト致シマシテハ、米國ノ聯盟加入ヲ促進セムガ爲ニ、何等ノ措置ヲ取ルコトヲ只今考量ヲ致シテ居リマセヌ、第二ノ御質問ハ、日本ト滿蒙トノ間ニ於テハ、經濟上極メテ密接ナル關係ヲ持ッテ居ル、此關係ハ日本ノ經濟の生存ノ爲ニ最モ重要ナル性質ヲ有スルモノデアアル、今日支那ノ混沌タル政情ニ顧ミテ、此際日本ト滿蒙方面トノ密接ナル經濟關係ヲ明白ニ致シ、何等ノ誤解ヲ與ヘザルガ爲ニ、一ツノ聲明ヲ露西亞及支那方面ニ對シテ發シテハ如何ノモノデアアルカ、ト云フ御質問ノヤウニ伺ヒマシタ、如何ニモ滿洲方面ニ於テ、日本ハ重大ナル經濟上ノ利害關係ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、是ハ明瞭ナル事實デアリマス、併ナガラ斯ノ加キ滿蒙ニ於ケル日本ノ經濟關係ヲ密接ニシ、其地方ノ開發ニ貢獻スルト云フ目的ニ對シマシテハ、日本ノ朝野舉ッテ最モ眞面目ナル眞剣ナル努力ヲ示サナケレバナラヌト思フノデアリマス、此際一ツノ聲明ヲ以テ此目的ヲ達スル、少クトモ此目的ニ重大ナル影響ヲ持チ得ルト云フコトハ、私ハ左様ニ考ヘナイノデアリマス、此際斯ノ如キ聲明ヲ發スルト云フコトハ、此關係ヲ増

進スル所以ヨリハ、却テ之ガ爲ニ誤解ヲ與ヘ、疑惑ノ念ヲ増シ、好イ結果ハ私ハ奏シ得ルト云フコトヲ期待シ得ラレナイト思フノデアリマス、從テ此際ス様ナル聲明ヲ露國竝ニ支那ニ對シテ發スルト云フコトハ、我々ハ今日考慮ヲ致シテ居リマセス、是ダケノコトヲ御答申上ゲマス

〔國務大臣子爵井上匡四郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵井上匡四郎君) 午前中阪谷男爵ノ御質問ノ當時、衆議院ノ特別委員會ニ出席イタシテ居リマシタ爲ニ、親シク御質問ヲ拜聽スルコトハ出來ナカツタノデアリマスガ、併シ其御趣旨ハ同僚カラ拜承イタシマシタ、質問ノ御趣旨ハ、國有鐵道ガ去ル九日以來、信越及北陸線ノ一部ヲ不通ナラシメテ居ルト云フコトハ、豫テ鐵道省ノ施設ノ宜シキヲ得ザルニ因ルコトデアッタ、從テ鐵道大臣ノ責任デアルト云フ意味ノ御質問デアッタ承リマシテ、其意味ニ於テ御答申上ゲマス、鐵道省ハ既ニ長イ間、雪ノコトニ付キマシテハ相當經驗ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從テ路線ノ選定ノ上ニ於キマシテモ、信越及北陸、北越地方ノ如キ降雪ノ深イ部分ニ於キマシテハ、其當時ニ於テ相當ノ考慮ヲ拂ッタモノデアリマス、現在ニ於キマシテモ、現在ノ路線ノ外ニ對シマシテ、ヨリ雪ノ量ノ少ナイ地域ヲ見出スコトハ困難デアリマスダラウト考ヘマス、北陸親不知ノ險ハ昔カラノ難地デアリマス、此邊ニ付キマシテモ相當ノ、建設ニ於テ考慮ヲ拂ッテ居リマス、去ル大正十一年ニ、此附近ニ於キマシテ除雪人夫ヲ載セテ居リマス、列車ヲ雪崩ノ爲ニ埋沒イタシマシテ、死傷百三十名ヲ生ジタ事實ガアリマス、從テ此附近ニ於キマシテハ、再ビ斯ノ如キ危險ヲ致シマセス爲ニ、十分ナル雪覆ヒヲ致シテ居ルノデアリマス、此雪覆ヒハ鐵筋混凝土デ造リマシテ、確カ一尺百四五十圓モ掛カリマシテ、殆ド新シク隧道ヲ造ルノト同ジ位ナ費用ノ掛カル堅牢ナル雪覆ヒヲ造ッタノデアリマス、然ルニ今回ハ此地域ニ於キマシテ、此前ノ列車ヲ埋沒イタシマシタ所トハ少シ距離ガアルノデアリマス、ガ、非常ナ……殆ド稀有ナ大キナ雪崩ガアリマシテ、或ハ五千坪ト申シテ居リマス、此堅牢ナル雪覆ヒノ上ニ落チマシテ、此雪覆ヒヲ百尺以上モ破壊

イタシテ、海中ニ之ヲ突キ出シタト云フヤウナ狀態ハ、實ニ數十年來此地方ニ於ケル、未ダ曾テ無イ慘狀デアルト考ヘマス、又前ニ申シマシタ如ク、路線ヲ選定イタシマスルニ付テ、ヨリ良キ路線ガナイト致シマスレバ、是ハ雪覆ヒヲ致シマスルカ若クハ隧道ニ依ルカデアリマスガ、此雪覆ヒモ、斯ノ如キ費用ヲ掛ケタ雪覆ヒガ、今日ノ如キ雪害ニ對シテハ、之ヲ防グコトガ出來ナイノデアリマス、其他ノ方法ト致シマシテハ、所謂除雪車ト申シマスルカ、線路ノ上ニ雪ノ降リマシタモノヲ掻キ除ケル設備ノアル車ヲ運轉イタシマシテ、之ヲ除雪スルノデアリマス、此除雪車ハ、鐵道省ハ九十四臺……百臺足ラズ全國ニ配付シテ居リマス、勿論今回不通ノ地域デアリマス、區間ニモ、相當ノ除雪車ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ此除雪車ノ能力ト云フモノハ、寧ロ積雪ノ高サニ依リマセズ、雪ノ降ル密度ト申シマスルカニ關係スルノデアリマス、即チ僅カナ時間ニ多クノ雪ガ降リマス場合ニ於キマシテハ、斯ノ如キ除雪車ハ其效力ヲ失フノデアリマス、今回ノ信越北陸地方ノ降雪ハ、短時間ノ間ニ非常ナ多量ノ降雪ガアッタノデアリマシテ、從テ此除雪車モ其機能ヲ發揮スルコトヲ得ズシテ、遺憾ナガラ數臺雪中ニ埋沒サレタト云フ狀態デアリマス、斯ノ如キ未ダ鐵道省トシテ遭遇セザル所ノ非常ナル雪害デアリマス、之ニ對シテ十分除雪ノ機能ヲ全ウシ得ズシテ、九日以來數日間、國有鐵道ヲ不通ナラシメタコトハ、私ト致シマシテ甚ダ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、是モ殆ド不可抗力デアルト考ヘマス、天然ノ、未ダ曾テ示サザリシ所ノ猛威ニ向フノデアリマシテ、之ニ對スル設備ハ、鐵道省トシテハ、完全シテ居ラナカツタコトハ、甚ダ遺憾ニ考ヘマス、機械力ヲ以テ除雪スルコトガ不可能デアリマス、現在ニ於キマシテハ、此區間ニ五千人餘ノ除雪人夫ヲ出シマシテ、人力ヲ以テ之ヲ除雪シテ居ル狀態デアリマス、此除雪人夫ノ募集ニ對シマシテモ、相當困難ガアリマス、雪害ヲ受ケテ居リマスル地方ノ人夫ハ、自カラ其自己ノ防禦ノ爲ニ、自分ノ家屋ノ除雪デアリマス、ソレデ相當離レマシタ地域カラ、又雪ニ經驗募集ニ應ジナイノデアリマス、

アル者デナケレバナナイノデアリマシテ、サウ云フ者ヲ相當遠隔シタ地域
カラ募集イタシマシテ、現在デハ五千人餘此地ニ働イテ居リマスル、是ハ
相當效果ヲ現ハシテ居ルノデアリマス、茲ニ御報告ヲ申上ゲルコトヲ得マス
ノハ、私甚ダ欣幸ニ考ヘルノデアリマスルガ、信越線ハ本日中ニ開通ノ見込
デアリマス、併ナガラ是モ天然ニ打勝チ得タノデハナイノデアリマシテ、天
然ガ我々ニ幸シタノデアリマス、雪ガ止ミマシテ、昨日ハ相當ナ天氣デアリ、
今日ハ其地域ハ雨デアアルサウデアリマス、サウ云フ爲ニ除雪ガ相當進捗イタ
シマシテ、本日中ニ信越線ハ開通イタシマス、北陸ノ直江津カラ西、親不
知ノ泊迄ノ地域デアリマスルガ、モウ少シ詳シク申シマスルト、市振迄ノ
地域デアリマス、此地域ハ或ハ近イ將來ニ除雪ハ成功イタシマスダラウト考
ヘルノデアリマスルガ、雪崩ガ非常ニ危險デアリマシテ、從テ將來暫クノ
間ハ、旅客列車ヲ通シマスコトハ危險ノ憂ガアリマス爲ニ、相當ノ期間様
子ヲ見ル考デアリマス、併ナガラ此間ニ食糧ノ不便ノナイヤウニ、機關車
及ビ僅カナ貨物列車ハ運轉イタシマシテ、食糧ノ供給ハ此地域ニ於テ遺憾ナ
イコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、鐵道ノ職員ガ今回ノ積雪ニ對シマシテ
日夜奮勵努力シテ居ルコトニ對シマシテ、阪谷男爵カラ御褒メノ御言葉ヲ頂
戴イタシマシタヤウニ拜承イタシマシタガ、此點ハ私カラ深ク感謝イタシマ
ス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ重ネテ御尋ネシタイ點ガ多クゴザイマスルガ、何
レモ重大ナ問題デ、餘程時間ヲ要シマスルコトデゴザイマスカラ、是ハ豫算
委員會ノ際ニ讓リタイト考ヘマス、唯海軍補助艦艇ノ第二海軍制限ノ問題ト
ノ關係ニ付キマシテ、海軍大臣カラ御意見ガ伺ハレレバ仕合セデゴザイマス
ガ、今日御出席ガゴザイマセスケレバ、又他日デモ宜シウゴザイマス、是ハ
獨リ我々ノミナラズ、世界ガ之ヲ聞キタイデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデア
リマス

○議長(公爵徳川家達君) 海軍大臣ハ只今衆議院ニ出席セラレテ居ル趣デゴ
ザイマスカラ、阪谷男爵ノ質疑ニ對スル答辯ハ、後刻本院ニ出席ヲ待チマシ

テ求メヤウト思ヒマス、花井卓藏君ノ登壇ヲ望ミマス

「花井卓藏君演壇ニ登ル」

○花井卓藏君 豫算ニ付キマシテハ、憲法上先議權ノ精神ニ鑑ミ、又租稅承
諾權ノ根本原則ニ基キマシテ、衆議院ニ於テ通過シタル事實ハ尊重イタシタ
イ考デアリマス、然ルニ其審査ノ跡ニ見マスルニ、甚ダ解スベカラザルモノ
ガアルノデアリマス、速記録ヲ讀ミマシテ、果シテ先議權ヲ有スル衆議院、
豫算ノ審査ヲ爲シタリヤ否ヤニマデ疑ヲ懷クニ至ッタノデアリマス、即チ豫
算其モノノ審査ハ寧ロ爲サレズシテ、或ル政治的目的物ノ爲ニ交換セラレタ
ノデハナイカト云フガ如キ感ガ懷カルノデアリマス、賛成スベカラザル理
由ヲ述ベラレテ、而シテ賛成ヲ致シテ居ルノデアリマス、非難スベキ事實數
字ヲ列舉シテ、非難セザルニ歸著イタシテ居ルノデアリマス、而シテ其理由
ニ曰ク、我々ハ現内閣ニ對シテ不信任案ヲ提出シタノデアアル、而シテ提出ノ
當時ニ於テ議會ハ停會ト相成ッタノデアアル、其當日ニ於テ若槻總理大臣ハ政
友會ノ總裁並ニ政友本黨ノ總裁ヲ議院内ニ招カレテ、總理大臣トシテ誠意ヲ
披瀝シテ話ヲセラレタノデアアル、茲ニ於テ我々ノ出シタ所ノ不信任案ノ理由
ニ對シテハ深キ考慮ヲ拂フト云フコトヲ明言セラレタノデアアル、我々ノ總裁
並ニ床次總裁モ亦之ヲ信ジテ、苟モ總理大臣ガ深甚ノ考慮ヲ拂フト云フ以上
ハ、之ヲ認メヤウト云フコトニ相成ッタノデアアル、茲ニ於テ豫算ニ賛成スル
ノデアアル、斯ノ如キ意味ニナツテ居リマス、賛成スベカラザル豫算ニ賛成ヲス
ル理由ハ、即チ只今朗讀イタシマシタル點ニ歸著イタシテ居ルヤウデアリマ
ス、換言スレバ、豫算無修正通過ハ、三黨首會合妥協ノ對價デアルト云フコ
トニ歸著イタスノデアアル、私ハ私一個ノ主義トシテ、貴族院ニ於テ金錢法案
ニ觸ルルコトハ、寧ロ能ヒ得ル限リニ於テ避ケタイト思フ意見デアアルノデア
リマス、併ナガラ我憲法ガ豫算審査ニ關シテ、先議權ヲ除クノ外、兩院通ジ
テ同一ノ權限ヲ認メラレタノハ、全ク今回ノ如キ場合ノアルコトヲ慮ッテ、上
院ハ斯カル場合ニ於テ最モ監視セネバナラヌト云フ趣旨ガ含マレテ居ッタモ
ノデアラウト考ヘルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ不信任案ノ政治的取扱ニ關

シマシテ、政府ノ所見ヲ質サネバナラヌコトナッタノデアリマス、甚ダ遺憾ナコトデアリマス、此不信任案ノ政治的取扱ノコトヲ聽カネバ、豫算ニ賛否ヲ表スルコトノ出來ナイト云フ程ニ相成ッタト云フコトヲ、頗ル遺憾ニ感ジテ居ルノデアリマス、大正天皇崩御マシマシ、世ハ諒闇ニ入りマシテ、上下舉ッテ哭シテ慟ズルノ時ニ當リマシテ、衆議院ハ突如トシテ不信任案ヲ提出シタノデアリマス、而シテ此不信任案ヲ提出スル前二日ニ互リテ、殆ド内容ニ於テ不信任案の論議ヲ交換セラレテ居ルノデアリマス、私ハ能フベクンバ御大喪ノ期終ル迄ハ、政治的の激シキ論戰ハ避クルヲ以テ至當ナリト考ヘテ居ッタノデアリマス、勿論避クベカラザル程ノ重大事件ニシテ、一日ト雖モ捨テ置キ難キ問題デゴザイマシタナラバ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、而シテ衆議院ハ避クベカラザル重大事件、一日ト雖モ捨テ置キ難キ事件ナリトシテ、二日ニ互リテ猛烈ナル激烈ナル政治的論戰ヲ交換セラレテ居ルノデアリマス、政府亦之ニ應ジテ防禦大イニ努メラレテ居ルノデアリマス、而シテ主トシテ皇室ヲ對象トスル刑事事件ガ問題ト相成ッタノデアリマス、其判決ニ對スル減刑ノ奏請ヲ不可トシテ、輔弼ノ責任ヲ問フト云フノガ主タル問題ノ如クニ聞エタノデアリマス、他ニ幾多ノ事項ガゴザイマスルガ、主タルモノハ此事件デアリマス、私ハ皇室ノ問題ヲ假令重大ナル事項ナリトスルモ、御大喪ノ後ニマデ待ツコトノ能ハヌ程……後ノ經過ハ待チ得ラレシニ拘ラズ、斯ノ如キ論戰ノ行ハレタルコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、事實ハ御大喪ノ終リタル後ニ於テスルコトヲ認ムルニ至ッタノデアアル、否御大喪ノ儀終リテ後ニ此問題ハ消滅シ去ッテ、靜カナルコト林ノ如シト云フ現狀デアアルノデアアル、先キニ提出シタル、先キニ論戰シタル理由ハ、提出者、論戰者ニ於テ、誠ニ其當時ニ於テ爲スベク避ケ得ラレタモノデアアルト云フコトヲ自ラ語ッテ居ルノデアリマス、何ガ爲ニ斯ノ如キ態度ニ出デタノデアアルカ、決議案ガ正式ニ提出セラレマシタ、國民ノ前ニ提出セラレタノデアアル、而シテ又意外ニモ直チニ國民ノ前ニ撤回セラレタノデアアル、國務大臣輔弼ノ責任ハ憲法上ノ大事デアリマス、問フ者、問ハル者、共ニ上至尊ニ

對シ、下國民ニ對シ、重大ナル責任ノ伴フコトヲ忘レテハナラヌノデアリマス、之ヲ政爭ニ利用スル、或ハ之ヲ政治的の或ル目的ニ利用スル、左様ナルコトハ立憲政治ノ根本ヲ崩壞スルノ甚シキモノト云ハネバナラヌト思ヒマス、其責任斷ジテ許スベカラズ、之ヲ刑事事件ヲ對象トスル、減刑奏請ノ問題ニ比シテ、決シテ輕重ノナキモノト私ハ考ヘル、或ハ此問題ノ方ガ重クハナイカト感ズルノデアリマス、茲ニ於テ現政府ニ問ハムトス、現政府ハ決議案ノ事實ヲ認ムルヤ否ヤ、認メズトセバ誣罔ナリトスルヤ、虚偽ナリトスルヤ、之ヲ先ヅ第一問トシテ提供ヲ致スノデアリマス、此決議案ヲ讀ンデ、私ハ苟モ時ノ政府、之ニ對スル態度トシテ、掲ゲラレタル内容事實ニ對シテ、堂々ト之ヲ爭ヒ、爭ノ結果立憲的の取ルベキニツノ方法ノ何レカニ出デナケレバナラヌモノト信ズル者デアリマス、決議案ハ朗讀イタスコトヲ暫ク避ケマス、驚クベキ現内閣ノ政治的の罪惡ヲ列舉シテ、託スルニ輔弼ノ任ヲ以テスベカラザルヲ以テ致シテ居ルノデアリマス、私ハ此内容ニ關シマシテ、部分的ニ贊成スル所モゴザリマスルガ、部分的ニハ贊成シナイ所モアルノデアリマス、大小輕重ノ區別ハ勿論アルノデアリマス、併ナガラ政府ノ責任ヲ問フ資料トシテ、殆ド同等ニ列記セラレテアルノデアリマス、私、立法部ニ列スルコト二十數年、決議案、上奏案、相當ニ觸レテ居ルノデゴザリマスルガ、未ダ曾テ此度ノ如キ苛烈ナル、猛烈ナルモノニ接シテ居ラヌノデアリマス、苟モ國務大臣トシテ斯ノ如キ決議案ヲ見テ、而モ其準備行爲トシテ二日ニ互ルノ論戰ニ觸レテ、之ニ對スル責任ヲ明カニスルガ爲ニ、ドウシテモ是非ヲ國民ノ裁判ニ訴フルノ途ニ出ヅベキガ當然デアアルト云フコトヲ御感ジニナルベキ筈デアラウト思ヒマス、是ハ現内閣ノ立場ニ同情シテ立テタル論デアリマス、然レドモ部分的ニモセヨ、決議案ノ内容ヲ承認スル、認ムルト云フコトデゴザリマシタナラバ、表ヲ奉ッテ骸骨ヲ乞フト云フ途ニ出デラレヌケレバナラヌノデアリマス、是ハ決議案提出者ノ意見ノ代表ノ意味ニ於テハ、左様申サバルヲ得ヌト考ヘルノデアリマス、然レドモ現内閣ハ決シテ此内容事實ヲ認メラレルモノデアアルマイト思フ、認メラレザルガ故ニ、認メラレザル所以ノ理由ヲ具シテ、

二日ニ互リ堂々タル論戰ヲセラレタルデアル、然ラバ歸結ハ解散ヲ奏請シテ國民ノ批判ニ訴ヘルノ外ニナイノデアリマス、之ニ對スル政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、或ハ言ハム、決議案ハ撤回セラレタ、消滅シタ、斯ノ如キノ辯解ハ許シマセヌ、決議案ハ國民ノ前ニ提供セラレテ、國民ハ皆之ヲ存ジテ居リマス、而シテ此決議案ガ國民ノ前ニ撤回セラレテ、皆存ジテ居リマス、提出シタル理由、撤回シタル理由、其潜在セル變態的政治家ノ觀念ハ或ハ存ゼヌカ存ジマセヌ、之ヲ知ラムト欲スルノハ、國民ノ政府及立法部ニ對スル當然ノ要求ト申シテ宜シカラウト思フノデアリマス、國民ノ無關心ナル間ニ於テ、撤回スル者モスル者、撤回セシムベク働キタル者モ者、兩々ノ責任ハ連帶的デ、寧ロ輕重ハナイカモ知レマセヌ、私ハ此決議案ハ性質上撤回スベカラザルモノデアル、又撤回セムトシテモ、努メテ其撤回ニ應ゼザルベキガ當然デアラウト思フノデアリマス、相共ニ立法部ノ問題ト相成リタル以上ハ、確信アリテノ決議案ノ提出デアル、而シテ我等ニ處決ヲ促ス所ノ決議案デアル、我々ハ確信アリテ、此決議案ノ事實ヲ認メナイノデアアル、公明ニ此論戰ヲ國民ノ前ニ提供シテ、而シテ立憲的ニ國民ノ裁判ヲ受ケヤウチャナイカ……三黨首相會シテ、此問題ノ歸結ヲ只今申述ブル所ノ話合ヲスルト云フ事柄ガ、憲政ノ常道デハアルマイ、立憲政治家ノ取ルベキ途デハアルマイト思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、事茲ニ出デズシテ、遽々然トシテ提出シ、遽々然トシテ撤回シ、遽々然トシテ三人相會シ、遂ニ國民ヲシテ何ガ故ニ提出セラレ、何ガ故ニ撤回セラレ、而シテ豫算案ノ通過ノ對價ニ供シタルデアアルカト云フ感ヲ懷カシメルト云フコトハ、決シテ公明ナル政治家ノ執リタル態度トシテ、許スベカラザルコトデアラウト思フノデアリマス、決議案ノ撤回ニ至リタル經路等ニ付キマシテハ、既ニ諸君ノ質問モゴザリマスルシ、又政府ノ答ヘタル所モアリマス、デ私ハ此機會ニ於テ深甚ノ考慮ノ意味ヲ質スト云フヤウナコトモ致シマセヌ、又妥協ノ内容真相ヲ明カニスルコトモ致シマセヌ、唯決議案ノ政治的取扱トシテハ、之ニ對シ認ムルニ於テ辭表ヲ奉リ、認メザルニ於テ解散ノ奏請ヲナシ、是非ヲ國民ノ裁判ニ求メルヨリ外ニ方

法ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、曰ク辭職、曰ク解散ノ奏請デアリマス、曰ク妥協ト云フニ至リマシテハ、憲法ノ常道ヲ常ニ口ニセラル、方々ノ態度トシテハ、私ハ受取り兼スルノデアリマス、約メテ質問ヲ文字ニ致シマシタナラバ、此決議案ノ取扱方トシテハ、辭職不可ナリ、解散不可ナリ、妥協最モ可ナリ、妥協コソ憲政ノ常道ニ適フモノデアルト云フ御趣旨デアッタナラバ、其理論上ノ根據、實際上ノ根據ヲ承リタイノデアリマス、此機會ニ於テ二三ノ各論的問題ヲモ提供イタシテ、答辯ヲ得テ置キタイノデアリマス、總理大臣ガ反對黨ノ二領袖ニ會見ヲ申込マレ、而シテ或交渉ヲナサレタルコトハ、政務トシテ取扱ハレタルコトハ勿論デアラウト思フノデアアル、果シテ政務トシテ取扱ハレタルモノナリヤ否ヤ、若シ政務トシテ取扱ハレタルモノトセバ、此問題ヲ閣議ニ付シ、閣議決定シ、總理大臣ハ閣僚ノ總テヲ代表シテ此交渉ヲナサレタルモノナリヤ否ヤ、之ヲ承リタイノデアリマス、今一ツハ衆議院ニ於ケル豫算案ニ關シマシテ、反對黨ノ領袖二人ノミニ交渉ヲ遂ゲラレタト云フコトハ、此二人者ヲ以下院ヲ代表スル……無限的ニ下院ヲ代表スルモノデアルト認メラレタルモノデアアルカドウカ、是ハ法律的ノ根據ヲ承リタイ、況ヤ一人ノ領袖ハ籍ヲ上院ニ列セラレタル所ノ人ナルニ於テヤデアリマス、今一ツハ、阪谷男爵ノ御尋ニナリタル點ヲ、極ク單刀直入的ニ御尋シタカッタノデアリマスガ、是ハ御答ヲ得タノデアリマス、世論ハ茲ニ疑ヲ懷イテ居ルノデアアル、然レドモ明白ナル御答ガアッタノデゴザリマスルカラシテ、此點ニ付テノ答辯ハ望ミマセヌ、只今二ツノ問題ヲ掲ゲテ問ニ致シマシタ、三番目ニ起ルベキ問題ハ、即チ阪谷男爵ノ問題ト相成ッテ來ザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ其御答ハアッタノデゴザリマスルカラ、了承ヲ致シテ居ルノデアリマス、此三黨首相會見終リ、一日モ緩ウスベカラザル問題ハ、永久ニ緩ウセラルベキ問題トナリ、政策ニ超越シタル重大事件ハ、政策以下ノ凡庸事件トナリ、而モ内容ニハ畏多クモ皇室ヲ對象トスル刑事裁判事件ニ對スル減刑奏請ノ非ナルコトヲ論ジテ、處決ヲ促スト云フ事ガ掲ゲラレテアッタノデアリマス、此問題ハ決シテ我々ハ輕々ニ視ル譯ニハ參リ

マセヌ、下院ニ於ケル二日ノ論争、而シテ彈劾決議案ヲ讀ンデ、其結論ハ立法部ニ於テ知ルコト能ハズ、政府之ヲ知ラシメズ、議會之ヲ知ラシメズ、二三氏ノ腹中ニ落花情有リ流水豈ニ心無カラシヤ、或ハ志水君ノ言ハレタ他人心アリ子之ヲ忖度ス、ト其邊ノコトハ分リマセヌガ、サウ云フヤウナ暗黙的ノ、了解ノ出來ナイ言語ノ交換デ抹殺セムトシテモ、國民ハ之ヲ許サヌノデアル、是レ畢竟立憲の當然ノ動作トシテ取扱フベキ辭職、若クハ解散ノ奏請ヲ爲サザリシヨリ生ジ來リタル所ノ結果デアリマス、私ハ先ヅ此事ヲ總理大臣ニ御尋ヲシテ、立憲の動作トシテ決議案取扱ノ途ハ、之ヲ以テ合理的ノモノト解セラル、ヤ否ヤ、辭職ヲ爲スコトハ不合理デアリ、解散ノ奏請ヲ爲スコトハ不合理デアッテ、妥協コン合理的ノモノデアルト云フ理由ヲ詳細ニ承リタイノデアアル、此答辯ニ依リマシテ、或ハ國民ヲシテ豫算通過ニ關スル政治上變則的ノ或ル忌ムベキ消息ヲ知ラシムルコトガ出來ヤウト思フノデアアル、國民ハ問題ノ解決ヲ爲スノ自由ヲ有セザリシト雖モ、此問題ヲ取扱ヒタル政治家ニ向ッテ、無形的ニ、併ナガラ最モ強キ裁判ヲ他日下ス時ガ到來スルデアラウト思フノデアリマス、斯ノ如クニシテ先議權、租稅承諾權ニ關スル國民ノ注意ヲ惹起シタイ考デアリマス、此機會ニ於テ序ナガラ伺ヒタイコトガアリマス、而シテ豫算案贊否ノ有力ナル資料ニ供シタイト思フノデアリマス、貴族院ニ於テ最モ有力ナル諸君ハ、一堂ニ相會シテ政局ニ關スル協議ヲ遂ゲラレ、天下ニ向ッテ覺書ヲ發表セラレテ居リマス、覺書ニ曰ク、「方今綱紀弛ミ道義衰ヘ國家ノ前途洵ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ、此秋ニ方リ道義ノ大本ヲ明ニシ司法ノ威信ヲ確立シ以テ民心ノ向フトコロヲ知ラシメサルニ於テハ或ハ容易ナラサル事態ヲ惹起センコトヲ悞ル、吾人ハ須ク大局ニ鑑ミ深重ナル考慮ヲ拂フヘキモノト認ム貴族院議員有志」此覺書發表ノ方々ハ、天下ニ向ッテ聲明セラレタル、表明セラレタル此覺書ノ實行ニハ、必ズ御努メニナルコトデアラウト思フノデアリマス、貴族院各派ノ有力者ヲ集メテノ會合ニ於ケル覺書デアリマス、近キ日ニ於テ、或ハ質問トナリ、否、寧ロ決議案トナッテ政府ノ責任ヲ問ハル、コトデアラウト思フノデアリマス、私ハ其

機會ノ必然的の近ク到來スベキコトヲ信ジマシテ、此内容ニ關スル質問ハ致シマセヌ、唯内容、此覺書ニ掲ゲラレテ居ル内容事實ハ、大體ニ於テ政府之ヲ認ムルヤ否ヤ、之ヲ御尋ニ致シマシテ、詳細ナルコトニ至リマシテハ、此覺書ニ關係ヲ有セラル、方々ノ責任ニ讓ルコトヲ以テ、敬意ヲ拂フノ大ナルモノト信ジマス、總理大臣竝ニ司法大臣ニ要求且ツ質問ヲ致シマス、或ル刑事被告事件、ソレノ減刑ノ奏請ノ當否、是ハ國務大臣補弼責任ニ關スル重大ナル政治問題デアリマス、事ハ皇室ニ關シ、國民ハ其經過ヲ知ラムトスルニ切ナリ、判決文ヲ朗讀シテ國民ヲシテ政府ノ爲シタル減刑奏請ノ可ナル所以ヲ了得セシメラレムコトヲ望ムノデアリマス、私ハ斯ノ如キ事件ノ訴訟記録ノ公ケニスベカラザルモノデアルト云フコトハ心得テ居ルノデアリマス、此點ニ於キマシテ衆議院ノ決議ハ、私ノ見ル所ヲ以テスレバ、妥當ナラズト信ジテ居ルノデアリマス、然レドモ判決文ハ公開スベキモノデアアル、憲法上公開セザルベカラザル性質ノモノデアアル、減刑奏請ノ當否ヲ知ラムト欲セバ、先ヅ以テ判決文ヲ讀ムニ如カズ、大要ハ是ニテ分ルノデアリマス、近キ日ニ於テ此判決文ヲ議場ニ於テ朗讀セラレ、而シテ減刑奏請ノ當然ナル所以ヲ證明スルノ資料ニ供セラレムコトヲ望ムノデアリマス、此問題ヲ以テ彈劾シタル者、彈劾セラレタル者、今ニ於テ沈々默々、御大喪ノ儀ノ終ルコトヲ待ツコトモ出來ナイ程ノ重大ナル事件トシテ此彈劾案ヲ提出シ、之ニ應ジテ戦ヒタル所ノ現政府、遂ニ減刑奏請ノ當否ヲ、國民ヲシテ知ラシメザルニ終ラシムルト云フコトハ、如何ニ考ヘマシテモ辯護ノ餘地ハアルマイト私ハ考ヘルノデアアル、上、皇室ニ對シ、下、國民ニ對シ、申譯ノナイコトデアアルマイカト思フノデアリマス、難キヲ求ムルノデハナイ、憲法上公開セザルベカラザル判決文ヲ此壇上ニ於テ朗讀セラレ、政治的大問題ト相成リタル減刑奏請ノ當否ニ關スル我等ノ意見ヲ定ムルノ資料ニ供セラレムコトヲ望ムノデアリマス、是ハ要求且ツ質問デアリマス、司法大臣ノミニ向ッテ質問ヲ致シマス、皆様ハ如何ニ御感ジニ相成ルカハ存ジマセヌガ、國家ノ負擔スル、國民ノ負擔スル犯罪ニ關スル經費ト云フモノハ、實ニ莫大ナルモノデアリマス、私ハ

茲ニ數字ヲ掲ゲズシテ却テ數字ヲ問フト云フコトノ途ニ出デタイノデアリマス、刑事裁判ニ關スル費用、裁判所ノ費用、検事局ノ費用、警察ノ費用、刑務所ノ費用、此合計ノ數字ハ幾何デアルカ、御承知ノ通り、犯罪ニ國費ヲ費スト云フコトハ、實ニ我々ノ避ケタイ所デアリマス、而シテ又之ヲ減ジ、之ヲ無クス所ノ對策ヲ當局ハ講ズルコトニ努メラレバナラヌコトデアリマス、茲ニ於テ失業ト犯罪關係、是等ノ調査、又是等ノ救済の對策、斯ノ如キモノハ勿論確立シテ居ラナケレバナラヌノデアアル、而シテ之ヲ豫算ノ上ニ我等ガ見ルコトニ努メラレバナラヌノデアアル、防貧、救貧、即チ失業ノ關係ニ伴ウテ講ゼザルベカラザル所ノ社會的施設ト云フモノハ、勿論政府ノ努メヌケレバナラヌ所デアリマス、是等ノ點ハ豫算ノ上ニ、我々ヲシテ理解セシムベク現ハレテ居ナイノデアアル、此點ニ向ッテ司法當局ハ平生如何ナル感想ヲ懷イテ政務ニ當ッテ居ルノデアアルカ、之ヲ質シタイノデアアル、尙ホ只今ノ問題ハ内務大臣、文部大臣ニモ合セテ質問スル趣旨ト心得テ貰ヒタイノデアアル、文部省ノ施設スル是等ノ問題ニ關スル有ラユル社會政策、文部省ノ所管スル教育ノ關係、何レモ犯罪ト連絡ヲ保タヌモノハナイノデアアル、私ハ茲ニ一々例ヲ舉ゲテ教育上ノ缺陷ヲ指摘スルコトハ致シマセヌ、貧シウシテ業ヲ失ヒ終ニ犯罪人トナル、誠ニ同情ニ堪ヘナイ、併ナガラ之ニ對スル對策ヲ講ゼナケレバナラナイ、書ヲ讀ミ道ヲ講ジ、最高學府ノ人トナリ、尙且罪ヲ犯ス、境遇罪ヲ犯スニ非ズシテ、教育罪ヲ犯スト云フヤウナコトニ見ラレルヤウニ、人ヲシテ思ハシメルノデアアル、是ハ畢竟平生ノ董督宜シキヲ得ザルニモ原因イタシマセウガ、斯カル問題ノ起リタル場合ニ於テ、善後ノ考究ヲ忽セニスルニ胚胎イタスノデアリマス、京都帝國大學生事件、實ニ同情ニ堪ヘナイノデアリマス、年若クシテ誠ニ前途ノ多望ナル青年デアアル、彼ノ人ノ行ヒタル責任ハ誰ガ負フノデアアルカ、私ハ此問題ヲ提供シテ、京都帝國大學生等ニ關スル刑事被告事件ノ真相ノ説明ヲ文部大臣ガ爲サリ、而シテ政府責ニ任ゼザル所以ノ理由ヲ詳細ニ承リタイノデアアル、陸海軍大臣ニ承ラント欲シマシタル事項ハ、徹頭徹尾、阪谷男爵ノ御質問ト同ジデゴザイマスカラ、之

ヲ省クコトニ致シマス、折角御呼ビ申シタ次第デゴザイマスカラ、原則ヲ一ツ承ッテ置キタイノデアリマス、極メテ簡單ニ問題ヲ提供イタシマス、但シ御答辯ハ此簡單ノ問ヲ充タスニ相當ニ詳細ヲ要スルモノデアアル、ト云フコトヲ御了解ヲ願ッテ置キタイノデアリマス、是ハ當面ノ問題ニ觸レズシテ……當面ノ問題ニハ全ク觸レズシテ伺フモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、内外ノ形勢ニ鑑ミ、國防上、軍備縮小ノ餘地アリヤ否ヤ、此間デアリマス、私ハ現内閣ノ威信ヲ保ツ上ニ於テ、又現内閣ノ閣僚ノ人々ノ人格ヲ信ジテ、決議案ノ内容全部ヲ朗讀シテ、之ヲ有耶無耶ノ問ニ葬リ去ル、果シテ公ケニスベク、憚ルベク何物カアッタモノトハ信ズルコトガ出來ナイノデアアル、況ヤ内容中、部分的ニハ大ニ賛成スベカラザルモノアルニ於テヤ、深甚考慮問題ニ何物カ潛シデ居ッテ、其潛シデ居ル何物カガ彈劾トナッタノデアアルト云フコトヲ、市井ノ者ガ疑フノハ當然デアリマス、識者モ疑フノデアリマス、併ナガラ此遠山ノ霞ヲ眺メテ山ノ風色ヲ談ルガ如キ問答ヲ致シタ所デ無用デゴザイマスカラ、私ハ私自身之ヲ理解シテ此問題ハ御問ヒ致シマセヌガ、ドウカ決議案ニ對スル政治的取扱ニ關シテ現内閣ノ所信ヲ、誠意ヲ披瀝シテ承リタイノデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今花井君ヨリ、先般衆議院ニ於テ、政府ニ對シテ、不信任ノ意味ヲ以テ決議案ヲ提出セラレタノデアアルガ、其決議案ニ掲ゲタル事項ニ付テ、政府ハ之ヲ認メテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ先ヅ御尋ネニナッテ、ソレカラ生ジタ其後ノ取扱ニ付テ、政府ノ説明ヲ求メラレタノデアリマス、決議案ニ掲ゲテアリマス事項ニ付テハ、花井君ガ今茲ニ御演說ニナリマシタ通り、衆議院ニ於テハ二日ニ互ッテ、殆ド其事項ノ各問題ニ對シテ質問ガアッタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハソレハ答辯ヲ致シテ居リマスノデ、御承知ノ通り、此事項ニ付テハ政府ハ承認シテ居ルノデアアリマセヌ、掲ゲタル事項ニ付テハ、政府ハ承服イタサヌノデアリマス、ソコデ政府ノ承認スルコトノ出來ナイ事實ニ付テ、不信任案ガ提出セラレタナラバ、

之ニ對シテ政府ノ取ルベキ道ハ二ツアルデアラウ、多數デ決議セラレタナラバ、政府ガ辭職スルカ、然ラザレバ、國民ニ訴ヘテ其當否ヲ判斷シテ貰フト云フ手段ヲ取ルカ、此二ツノ外ナイ筈デアルト云フ御議論ガアリマシタ、私モ大體ハ左様ニ認メテ居ルデアリマス、而モ掲ゲテアリマス事項ニ付テハ、政府ハ承服イタサスノデアリマス、而シテ國民ニ於テモ多數ノ人ガ其事項ニ同意ラシテ居ルトハ、私ハ認メテ居ラナイノデアリマスカラ、唯簡單ニ進ミマシタナラバ、國論ニ訴ヘルト云フコトニナルノ外ナカッタと思フデアリマス、併シ翻ッテ私考ヘマシタノニ、道理ハ其通デアルケレドモ、併シ何カ其間ニ其處マデ至ラズシテ、政府ノ政策ノ成立スルヤウナ途ガアルモノデハアルマイカ、若シ其途ヲ發見スルコトガ出來ルナラバ、昭和新政ノ初ニ於テ、國務ノ停頓ナシニ遂行スルコトガ出來ルデアルカラ、普通ハ花井君ノ仰セニナル通ノ途ニ出ル外ナイノデアルケレドモ、又ソレヨリ外ナカッタカモ知ラスケレドモ、尙且途ガアリハシナイカト云フコトヲ發見スルガ爲ニ、屢、此處デ申上ゲマス通り、私ハ反對黨ノ總裁ニ會見ヲ求メマシテ、反對黨ノ總裁ハ此不信任案ヲ出サレルニ付テハ、各、又信ズル所アッテ出サレテ居ルニ相違ナイ、政府ガ之ニ承服セナイノハ、又政府ノ信ズル所ガアッテ承服シナイノデアアル、殆下行キ詰ッタヤウナ狀態デアルガ、併シ出來ルコトナラバ、昭和新政ノ初ニ於テ豫算ヲ不成立ニ歸セシメナイヤウニナッタラ、是以上ノコトハナイノデアリマスカラ、何トカ其途ハアルノデアリマスマイカト云フコトヲ、誠意ヲ披瀝シテ話ヲ致シタノデアリマス、是ハ私ハ左様ニスル方ガ、直チニ國民ニ訴ヘルト云フコトヲスルヨリモ宜シイト考ヘタノデアリマス、宜シイト云フノハ、サウナッテ若シ國務ノ遂行ガ間斷ナク出來ルナラバ、ドウカソレヲシタイト云フ切ナル希望ガアリマシタル爲ニ、之ヲ致シタノデアリマス、私ガ兩總裁ニ會見シテ、何トカ其途ガアルモノデハアルマイカト云フコトヲ懇談ヲ致シマシタ精神ハ、其處ニアルノデアリマス、此事ハ政府ハ政務トシテ取扱ッタノデアルカ否ヤ、多分サウデアラウ、ソレナラバ、政務ナラバ、閣僚ノ同意ヲ受ケテ居ラナケレバナラス筈デアルガ、左様ニシテ居ル

ヤ否ヤ、政治上ニ政府ノ政策ヲ成ルベク遂行シタイ、其途ガアリハセヌカト云フコトヲ發見スルガ爲ノ努力デアリマス故ニ、花井君ノ仰セニナル通り、私ハ之ヲ政治上ノ努力ト見テ居ルデアリマス、而シテ政治上斯様ナコトヲ致スニ付テハ、無論閣僚ノ同意ヲ得テ置カナケレバナリマセヌカラ、私ガ此行動ヲ執リマス前ニ於テハ、其途ガアリヤ否ヤト云フコトヲ發見スルニ付テノ方法ニ付テハ、總理大臣ニ一任シテ貰ヒタイト云フコトニシテ、其同意ヲ得テ致シタ事柄デアアルデアリマス、交渉スルニ付テ政友會ノ總裁竝ニ政友本黨ノ總裁ノミニ之ヲ交渉シタト云フノハ、此二人ノ人ヲ以テ下院ノ代表ト見タ結果デアアルヤ否ヤ、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、下院ノ代表トカ、サウ云フヤウナ考デ致シタノデアリマセヌ、政治上、兩總裁ハ下院ノ多數ノ人ヲ統督シテ居ラレルノデアリマスカラ、此兩總裁ニ交渉スルコトガ、私ノ切ナル希望ガ成立ツモノデアリヤ否ヤト云フ途ヲ發見スル上ニ於テ、最モ宜シイ方法デアルト考ヘマシタカラ、ソレ故ニ兩總裁ニ私ハ會見ヲ求メテ話ヲ致シタ次第デアリマス、貴族院ノ有志諸君ガ會合セラレテ、覺書ヲ拵ヘラレタ、其覺書ヲ政府ハ承認スルヤ否ヤ、私今覺書ノ全文ハ記憶シテ居リマセヌケレドモ、只今此處デ花井君ノ述べラレタノデ、凡ソノ意味ハ分ッテ居ルノデアリマス、即チ今日ハ道德ノ大體ガ弛廢シテ居ルヤウダ、司法權ノ威信モ十分デナイヤウダト云フ意味デアッタヤウニ思フデアリマス、之ニ付テハ大イニ考慮ヲセナケレバナラヌト云フ意味デアッタヤウニ思フデアリマスカ、私ハ今日ノ日本ノ現在ガ、道德ノ大本ガ弛廢シテ居ルトハ認メテ居ラナイノデアリマス、ソレハ若干ノ其處ニ我々ノ感服スルコトガ出來ヌヤウナ出來事ガアルカモ知レマセヌ、併シソレアル故ヲ以テ、日本ニ於ケル道德ノ大本ハ弛廢シテ居ルト云フヤウニ見ルノハ、少シ行き過ギテ居ルト私ハ思ヒマスカラ、左様ナ事實ヲ承認スルコトヲ茲デ申ス譯ニハ參リマセヌ、又司法權ノ威信ガ十分デナイ、私ハ今日ノ司法權ノ威信ハ十分ニ發揮シテ居ルト思ヒマスノデ、其點ニ於テ決シテ司法權ノ威信ガ十分デナイト云フコトヲ承認シテ居ルモノデハナイノデアリマス、所謂朴烈事件ニ付テノ判決文ヲ此處デ

讀ミ上ゲテ貫ヒタイト云フ要求デアリマス、此點ハ司法大臣ガ答辯ヲ致シタ
方ガ適切デアルト存ジマスカラ、司法大臣ノ答辯ニ讓リタイト思フノデアリ
マス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 花井博士ヨリ主トシテ司法大臣ニト云フ趣意デ答辯
ヲ求メラレマシタ點ハ、失業ト犯罪對策ノ關係ノ事項デアッタと思ヒマス、
此點ニ付テハ花井博士ハ平素非常ニ熱心ニ御研究ニモナツテ居リマスルシ、又
此事ニ付テ憂慮ヲ懷カレテ居ルコトハ、既ニ昨年デアリマシタカ、一昨年ノ議
會ニ於キマシテモ、此點ニ付テ御質問ガアツタカト記憶イタシテ居ルノデアリ
マス、御述ベニナリマシタル如ク、犯罪ノ多クノ場合、其動機事情ト云フガ
如キモノヲ研究イタシマスレバ、全ク御述ベノ通り、各種ノ社會的環境ト云
フ如キモノガ犯罪ナル不幸ノ事實ヲ生ミマスルト云フコトハ、極メテ明白ナ
ル事柄ナノデアリマス、從ヒマシテ所謂世ノ中ニ刑ナカラシムル爲ニハ、社
會政策的ノ施設ヲ致シマスルト云フコトハ、餘程必要ナコトデアルト思フノ
デアリマス、而シテ失業ト云フ事柄ニ關シマシテハ、何レ内務大臣ヨリ御答
辯ガアルコトと思ヒマスルガ、失業ニ依リマシテ犯罪者ヲ出ダスニ至リマス
ト云フ場合ハ、固ヨリ少ナクナイコト思フノデアリマス、從ヒマシテ失業
ニ對シマスル施設、社會政策的施設ノ必要デアリマスルコトハ、固ヨリ申ス
迄モナイコトデゴザイマシテ、是等ニ對シマシテ、内務當局ニ於キマシテ、
著々或ハ考究或ハ施設ヲシテ居ラレマスル點ガ多アルト思フノデアリマ
ス、司法所管ト致シマシテ、失業ニ對スル對策、犯罪對策ト申シマセウカ、
刑事政策ト申シマセウカ、左様ナ事項ヲ主トシテ努力イタシテ努メテ居リマ
スル點ハ、所謂保護事業デアリマス、保護事業ニ付キマシテハ、司法省ニ現
ニ一部局ヲ置キマシテ、全國ノ保護事業ニ對スル、或ハ獎勵或ハ事後ノ施設
等ヲ致シテ居リマシテ、相當其實績ノ見ルベキモノガアルト思フノデアリマ
ス、不幸ニ致シマシテ、之ニ對シマスル施設ガ理想的ニ、司法部デ考ヘテ居
リマスル如ク、全部行ハレテ居ナイト云フコトハ、誠ニ遺憾トスル所デゴザ

イマスルガ、併ナガラ之ヲ十數年前ニ比シマスレバ、保護事業ノ頗ル進ミマ
シタル點ハ、明カニ認メラレウカト思フノデアリマス、殊ニ特ニ申上ゲタ
キハ、此事業ニ對シマシテハ、帝室ニ於カセラレマシテモ厚ク軫念ヲ致サレ
マシテ、屢、内帑ノ資ヲ發セラレマシテ、此事業ヲ助成イタサレテ居ルノデ
アリマス、我々常ニ此御趣旨ヲ體シマシテ、益々此保護事業ノ目的ヲ達成シ
タイト努メテ居ル次第デアリマス、朴準植及金子文子ノ判決文ヲ全部此處ニ
出シタラト云フ御注意デゴザイマシタガ、御承知ノ如ク此判決文ハ、昨年ノ
三月二十五日ニ、大審院ノ公開ノ席ニ於キマシテ、其判決文ノ主文ト同時ニ
其理由ノ要旨ヲ發表イタシタノデアリマス、被告人其モノニ對シマシテハ、
全部ガ送達サレマシタコトハ固ヨリデゴザイマスルガ、公判廷ニ於テ裁判長
ガ公示イタシマシタモノハ、主文ノ朗讀、理由ノ要旨ヲ發表イタシタノデア
リマス、而シテ此發表イタシマシタル要旨ト云フモノハ、同時ニ世間一般ニ
モ公表イタサレマシタモノデ、大審院ガ今日マデ此事件ニ對シマシテ公表イ
タシマシタモノハ、是ダケニ止マツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ今日、
此全部ヲ此處ニ發表イタシマスルコトハ、大審院ガ爲シマシタルコトニ鑑ミ
マシテ、穩當デアアルマイカト考ヘマスルノデ、其點ハ大審院ノ發表イタシタ
ルモノニ付テ、要領ヲ御覽ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、若シ此點ガ必要
ト云フ御趣意デアリマスレバ、大審院ノ發表イタシマシタモノヲ提示イタシ
マスルコトハ、無論差支ノナイコトと思ヒマス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 花井君カラ御尋ノ最後ニ、此犯罪ト教育トノ關係
ニ付テ御陳述ガゴザイマシタ、犯罪ト教育ト誠ニ密接ノ關係ガアルト云フコ
トハ、申ス迄モナイコトデアリマス、其教育ノ方針又施設宜シキヲ得マシタ
ナラバ、此犯罪ヲ防止スルト云フ結果ニモナリマス、然ラザル場合ニハ、却
テ犯罪ヲ増加スルト云フコトモアルノデアリマス、誠ニ是ハ大切ナル問題デ
アルト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ此教育ノ方針ハ、時ニ從ツテ變更シ
テ參ラスケレバナリマセス、又時ニ從ツテ施設モ變ヘテ行カヌケレバナラス、

詰リ其時勢ノ必要ニ應ジテ參ラヌケレバナラヌノデアリマス、從來施設イタシタコト、執リマシタル所ノ方針ヲ其儘繼承シテ參リマシタナラバ、將來ニ於キマシテハ、或ハ此教育ノ爲ニ却テ犯罪ヲ減ゼズシテ、反對ニ缺陷ヲ生ズルヤウナコトガナイトモ限リマセヌ、私が就職以來、種々施設ヲ致シマシタ、又議場ニ於キマシテ御協賛ヲ請ヒマシタ事柄モ、從來ノ教育ハ其時代ニ適當デアッタガ、今日ニハ適セヌト考ヘルコトガアリマスカラ、今日ノ時代ニ適スルヤウニ之ヲ變更スルト云フコトヲ主眼ト致シテ居ルノデアリマス、デ此方針デ進ンデ參リマシタナラバ、恐ラク犯罪防止ト云フ上ニ於キマシテモ、相當ノ效果ヲ見ルコトガアルデアラウカト存ジテ居ル次第デアリマス、而シテ京都ノ事件ヲ一例トシテ御引キニナツタノデアリマス、如何ニモ此事件ハ、當局者ト致シマシテモ誠ニ遺憾ニ考ヘテ居リマスルコトデ、如何ニシテ斯様なル犯罪ノ嫌疑ガ起ツタカト申シマスルト、矢張り是ハ教育ノ施設ノ宜シキヲ得ナカッタモノガアッタト申サスケレバナリマスマイト思フノデアリマス、當局者ハ今ヤ努力イタシマシテ、斯様な弊ノ起ラヌヤウニ努メテ居リマスコトハ、世間ニ於キマシテモ略々承認イタシクレルコトト信ジテ居ルノデアリマス、併シ此事件ノ起ツタコトニ付テ、責任ハドウカト云フヤウナ御尋デアリマシタ、是ハ教育ノ任ニ直接當ツテ居ル者ハ當然責任ガアルト考ヘマスルノデ、文官懲戒令ニ依リマシテ相當ノ處分ヲ致シタコトデアリマス、文部大臣自身ノ責任ハドウカト云フ御尋モアッタノデアリマス、此事ニ付キマシテハ、私ニ於キマシテモ誠ニ遺憾ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、誠ニ恐縮イタシテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、深ク責任ハ感じテ居ル次第デゴザイマス

〔國務大臣宇垣一成君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(宇垣一成君) 花井君カラ、現時ノ狀勢ニ於テ軍備ヲ尙ホ縮小シ得ル餘地ガアルカ否ヤト云フ御問ガアリマシタ、軍備ヲ縮小シマシテ、比較的不生産的ノ意義ヲ有シテ居ル軍費ヲ減スト云フコトハ、是ハ誠ニ望マシイコトデ、私共モ其點ニ付テハ大ニ努力イタシテ居ルノデアリマスルガ、目下陸軍ガ整備イタシツツアル所ノ軍備ト云フモノハ、現時ノ四圍ノ情勢ニ適應

シテ最小限度ノモノデアリマス、デアリマスカラ、將來四圍ノ形勢ノ變化如何ニ依ツテハ、或ハ増減何レカノ場合ガ生ズルカモ知レマセヌガ、現時ニ於テハ只今申上ゲタ通り、最小限度ノモノト御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

〔國務大臣財部彪君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(財部彪君) 只今陸軍大臣ヨリ答ヘラレマシタ所ト大體同様デアルト御考ヘテ願ヒタイノデアリマス、先刻阪谷男爵ノ御質問ニ對シマシテ、總理大臣ヨリ海軍軍備ノ一端ニ付テ御答ガアリマシタガ、アノ答ノ中ニ、我が補助艦艇ノ現勢力ハ、我が國防上要スル所ノ最小限度ノモノデアアル、而シテ今回ノ補充計畫ハ、朽廢スル所ノモノヲ補充スルニ過ギヌモノデアアル、故ニ是ハ此上縮減スルノ餘地ノナイモノデアルト云フコトガアリマシタガ、此コトハ單リ補助艦ダケデゴザイマセヌ、御承知ノ如ク主力艦等ニ於テハ、又華盛頓條約ノ規定ニ於テ是デモ制限サレテ居ルノデアリマスカラ、是ハマア論ハナイト考ヘマス、要スルニ現海軍勢力ハ我國國防上ニ要スル所ノ最小限度ノモノナリト考ヘテ居リマス、此機會ニ於キマシテ、先刻私ハ此處ニ居リマセヌデゴザイマシタガ、阪谷男爵ヨリ御話ヲ申上ゲルヤウニ御希望ガアッタサウデアリマスカラ、簡單ニ申上ゲテ見タイト考ヘマス、此先日來新聞等ニ掲ゲラレテ居リマス所ノ、米國大統領ヨリノ補助艦艇ノ制限問題ニ關スル此提議ニ付キマシテハ、未ダ之ニ對スル政府ノ回答方針ハ一定ノ運ビニ至リマセヌカラ、從テソレニ付テ深クヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、只今此問題ニ付キマシテ私共ノ考ヘテ居リマスコトノ其一端ダケヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、今度ノ此問題ヲ考ヘマスカラ、米國大統領ノ提案モ、曩ノ華盛頓會議ノ擴張、擴張ト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスカラ、從テ曩ノ華盛頓會議ノ經過ト云フコトヲ忘ル、コトハ出來スト考ヘマス、故ニ其當時我政府ノ主張デアリマシタ所ノコトヲ、之ヲ基ニ置クト云フコトハ當然ノコトダラウト考ヘマス、次ニ其後四圍ノ狀況ニ於テ多少變ツテ居ルモノガアルト考ヘマス、先刻阪谷男爵ノ御演說ノ中ニモ、ソレニ御觸レニナツタ點ガアッタヤウニ考ヘマス、多少ノ是等ノ事情ノ變化ガゴザイマスカラ、

是モ考慮ノ中ニ加ヘナケレバナラヌコト考ヘマス、ソレカラ第二ニハ、曩ノ華盛頓會議ニ於テ協約ノ成立チマシタモノハ、御承知ノ通り主力艦デゴザイマス、此主力艦ト申スモノハ、海軍ノ兵力ノ上ニ於キマシテハ主幹ヲ成スモノデアリマシテ、勿論最モ大事ナ兵力デアリマスルガ、其任務上ニ於キマシテハ……又之ヲ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、用兵ノ上ニ於キマシテハ寧ロ簡單デアリマス、是ハ洋上ノ作戰ニ於キマシテ、彼我ノ格闘ノ衝ニ當ルト云フノガ大體ノ任務デアリマス、故ニ此比率ト云フモノハ誠ニ簡單デアリマス、然ルニ巡洋艦ノ任務ハ、無論此洋上作戰ノ偵察、或ハ彼我ノ攻防ノ策動ヲスルト云フコトハ無論ゴザイマスルケレドモ、ソレト同時ニ、第一平時ノ警備ノ任務ノ如キ、或ハ國際禮儀等ニ渉ル任務ノコトモゴザイマス、又戰時ニナリマシテモ、正面ノ作戰以外ニ、商船ノ保護、或ハ敵ノ商業交通路ノ破壊ト云フ如キ諸種ノ任務ガゴザイマス、是等ハ地理的ノ關係又ハ各國ノ所有スル所ノ商船ノ數、或ハ其國ノ自然ニ備ヘテ居リマス所ノ資源ノ如何等ニモ關係イタスコト考ヘマス、斯ク頗ル多岐ニ互ッテ之ヲ考察シナケレバナラヌノデアリマスルガ、曩ノ華盛頓會議ニ於テ決マリシタ主力艦ハ、五、五、三ト云フヤウナコトニ、英、米、日三國ノ間ハ決マリマシタガ、今回ハ斯ノ如キ簡單ナコトニハナカ／＼ムヅカシカラウト思ヒマス、五、五、四トカ、五、五、三トカ云フヤウナコトニハ、ナカ／＼サウ簡單ニハ行クマイト思ヒマス、次ニハ第三ニ考ヘテ居リマスコトハ、御承知ノ如ク一昨年ノ「ロカルノ」條約アタリノ成立チマシタ結果ト致シマシテ、「ジュネーブ」ノ國際聯盟ノ軍縮會議ノ前提トシテノ準備會議ナルモノガ、昨年來屢々會合イタシマシテ熱心ナル研究ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス、此研究ハ未ダ具體的ノ一定ノ結論ニハ達シテ居リマセヌケレドモ、此研究ハ頗ル合理的ニシテ、耳ヲ傾クル者ガ少カラスト考ヘルノデゴザイマス、曩ニ華盛頓ニ於テ各國ノ代表者ガ集マリマシテ軍縮會議ニ臨ミマシタ場合ト致シマス、今日ハ此點カラスルト餘程進ンデ居ルト考ヘマス、軍備ノ制限、殊ニ補助艦ノ制限ヲスル上ニ於テハ、如何ナルモノヲ基礎トシテ之ヲ比率ヲ設クルカ、ドウカ、先ヅ尺寸……尺度ヲ拵ヘ

テ、其基礎ハ何レニ置クカ、各國ノ現有勢力ノ上ニ置クベキデアルカ、或ハ各國ノ有シテ居ル所ノ資源ノ如何ニモ關係シハセヌカ、或ハ商船ノ數ニモ關係シハセヌカ、或ハ海外ニ有スル所ノ領土ノ關係モ大ニ與カルコトガアリハセヌカト云フヤウナ、色々ナ問題ガ起ッテ參リマス、又同ジ其一ツノ事項ノ中デモ、色々ニ是ガ關係シテ來ルト云フヤウナ點ガアルヤウデアリマス、ソレハ例ヘバ商船デアリマスガ、商船ヲ多數持ッテ居ル所ノ國ハ、此戰時ノ保護ト云フ必要ガアルカラ、補助巡洋艦ヲ多數ヲ要スルト云フ議論モ成立チマスルガ、是ト同時ニ、商船ヲ多數持ッテ居レバ、補助艦ノ如キハ戰時ニ之ヲ艦裝ヲ致セバ、巡洋艦……補助艦ノ代用ニスルコトガ直チニ出來ルノデアル、或ハ又一國ニシテ工作力ノ優ッテ居ル國ハ、戰時ニ直チニ之ヲ増加スルコトガ出來ル、故ニ斯ノ如キ國ハ却テ、多クノ常備ノ補助艦ヲ要スル代リニ、少ナクスル方ガ至當デハナイカト云フ議論モ起ッテ居ルヤウデアリマス、是ハホンノ一端ヲ申上ゲタノデアリマスガ、斯ノ如ク色々ナ議論ガアルノデアリマスルカラ、是等ノ議論ハ大ニ今回ハ參照シテ而シテ後、各國ニ最モ公平ニシテ、公正ニシテ且ツ合理的ノ實行可能ノモノデナクテハ、ドウモ今回ハナカ／＼ムヅカシカラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ有様デアリマスルカラ、只今我ガ海軍ハ如何ナル案ヲ持ッテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、是以上ニ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマス、ドウゾ其邊ノ所ハ以上申上ゲタ所ニ依リマシテ、御了承ヲ願ヒタイト考ヘマス

○花井卓藏君 内務大臣ハ出席セラレテ居ラヌヤウデアリマス、他日重ネテ御尋ヲ致スコトニ致シマス、若槻總理ノ答辯ニ依リマシテ、其常ニ口ニセラルル憲法ノ常道ノ外……立憲ノ常道ノ外ニ立憲ノ變道ノアルト云フコトヲ了解イタシマシタ、甚ダ現内閣ノ爲ニ此變道ヲ歩マレシコトヲ遺憾ニ思フ、而シテ斯ノ如キ變道ガ日本ノ憲政史ニ掲ゲラレルト云フコトヲ不快ニ感ズル、申述べラレマシタ經緯顛末ニ付キマシテハ、質問スベキ點、伺フベキ點ハ多々アル、併シ今日ハ是以上ニ意見ノ交換ハ避ケタイト思ヒマス、江木法相ハ、失業ト犯罪トノ關係ニ付テ注意セザルベカラザル所以ハ、我々ト同感

デアルト云フコトヲ示サレタノデアリマスガ、之ニ對スル御答ハナイノデアリマス、私ノ問ヒマシタル點ハ、犯罪ニ關スル國費、罪人ノ爲ニ良民ガ負擔スル國費、此數字ヲ承リタイト思フノデアリマス、刑事ノ裁判所費、檢事局費、刑務所費、犯罪搜查ニ關スル警察費、私ハ一々數字ヲ當ッテハ居ラナイノデゴザイマスルガ、少クトモ五千万圓内外ハ要スルコトノヤウニ覺エテ居ル、實ニ莫大ナル費用デアリマス、罪ヲ犯シタル者ノ爲ニ、罪ヲ犯サザル者ガ負擔スル所ノ莫大ナル經費デアルノデアリマス、此犯罪ヲ防遏スル所ノ途ハ、種々ナル施設ニ俟タネバナラヌノデアリマス、大部分ノ犯罪ハ失業ニ原因スルコト云フコトハ言フ迄モナイコトデアリマスルカラ、失業ト犯罪ニ關スル調査ヲ遂ゲ、其失業ヲ救済スベキ對策ヲ立テ、罪人ノ爲ニ良民ノ負擔スル所ノ其負擔ヲ輕ウスルト云フコトニ努メナケレバナラヌト云フコトハ、此局ニ當ッテ居ル者ノ唯一ノ職務ニ屬セスケレバナラヌト考ヘマスガ、保護事業ニ關スルコトハ大體御答辯ニ依ッテ承イタシマシタ、失業ト犯罪ニ關スル所ノ調査施設ニ關シテハ、承ル所ガナイノデアル、或ハ半バ司法省ノ支配ニ屬シ、半バハ内務省ノ支配ニ屬シテ居ルト云フヤウナコトデアルカモ存ジマセス、私ハ國務大臣ガ議場ニ列席シテ居ル場合ニハ、聯絡關係ノコトニ付テハ、主務行政ノ關係ヲ有セザルガ故ニト云フヤウナ、行政大臣事務大臣ノ觀念ヲ離レテ、閣僚ハ異管大臣ト雖モ、矢張サウ云フ事柄ニ携ハラレテ、邦家ノ爲ニ努力サレナケレバナラヌト云フコトヲ信ジテ居ル位デアアル、況ヤ只今ノ問題ノ如キハ、司法省當局トシテ殊ニ注意セザルベカラザル筋合デゴザイマス、此點ニ付テ先ヅ數字ヲ承リタイ、次ニ施設對策ヲ承リタイ、是ガ私ノ問ノ眼目デアリマス、陸海軍兩大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、私ガ内外ノ情勢ニ鑑ミ國防上軍備ヲ縮小スルノ餘地アリヤ否ヤト云フコトノ問ニ對シテハ、餘地ナシ、斯ウ云フ御答ヲ得タモノト信ジテ居リマス、確ク左様ニ信ジテ居リマス、此原則的質問ニ對シテ、特別ナル事情ノ變化ナキ限ハ、固ク此趣旨ヲ體シテ國防問題ニ觸レラルベキモノデアラウト信ジマス、而シテ左様デアラムコトヲ切望イタシマス、江木司法ノ答辯ヲ煩ハシマス、而シテ尙ホ一點、江木司法

ニ御尋ヲ致シタイ點ガアリマス、ソレハ判決ノ公表ノコトデアリマス、判決ハ形式上大審院ニ於テ言渡サレテ居ル、公表セラレテ居ルト云フコトハ事實デアアル、然レドモ我々ハ其判決文ヲ讀マザルガ故ニ、現内閣ノ爲シタル減刑奏請ノ當否ヲ批判スベキ適當ノ材料ヲ有セザルガ故ニ、之ヲ朗讀シテ裁判上定マリタル事實ヲ承知イタシタイト云フ趣旨ニ於テ、質問ヲ爲シ且ツ要求シタノデアリマス、江木君ハ大審院ニ於テ發表シタル限ニ於テノモノナラバ、之ヲ何時デモ示ス、大審院ノ發表セザル以外ノモノニ向ッテハ、是ハ示サレナイト云フ趣旨ニ申サレタノデハアルマイカ、是ハ衆議院ニ於テモ同ジ答辯ノヤウデアリマスガ、大變ナ間違デ、判決ハ全體ヲ通ジテ一ツノ判決トナルノデアアル、發表スベキ部分ト發表スベカラザル部分トニ分ツコトハ出來ナイノデアアル、何ガ故ニ之ヲ分ツノデアアルカ、判決ハ既ニ其全部ヲ公開スベキモノデアルト、憲法ノ條章炳トシテ日星ノ如シ、江木君御承知ノ通りデアアル、此判決文ヲ分ケテ、或ハ發表スル部分アリ、或ハ發表セザル部分ガアルト云フヤウナ事柄ニナルカラ、人ハ裁判ノ上ニ疑惑ヲ懷ク、而シテ減刑奏請ノ當否ヲ判斷スル上ニ於テモ疑惑ヲ持ツノデアアル、審理ハ公開スベカラザル場合アリト雖モ、判決ハ常ニ公開セザルベカラズ、其全部ヲ公開セザルベカラザルモノデアアル、大審院ガ部分的ニ公表ヲシテ、部分的ニ公表セス部分ガアッタナラバ、ソレハ大變不都合ナコトデアアル、判決自體ニ司法大臣ガ監督權ヲ行使スルコトハ、勿論許スベカラザルコトデアリマス、憲法ノ條章ニ於テ判決ノ全部ヲ公表スベク命ズルト云フコトハ、司法行政ノ監督ノ上ニ於テ、當然ナ行爲デアラウト私ハ感ジテ居ルノデアアル、何ガ故ニ其全文ヲ公表シナイノデアアルカ、私ハ衆議院ニ於テ此答辯ノアッタコトヲ速記ニ於テ承知イタシマシタガ、衆議院ニ於テ何ガ故ニ斯カル答辯ヲ其儘受ケ流シタノデアアルカト云フコトヲ、私ハ寧ロ疑惑ヲ懷イタ位デアッタノデアアル、故ニ今日御準備ガアリマスマイガ、若シ議院ニシテ要求スルナラバ、此判決ノ全部ヲ示サル、ト云フコトニ異議ハナイコトデアラウト思ヒマスルガ、之ヲ念ノ爲ニ重ねテ伺ッテ置キマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 重ネテノ御尋デゴザイマスルデ、只今考ヘマシタ所
ダケヲ、要領ダケ申上ゲテ置キマス、第一點ハ、犯罪ニ關スル國費ガ凡ソド
ノ位アルカ、最モ顯著ナル犯罪處理ニ關シマスル國費ハ刑務所ノ費用デアリ
マスルコトハ、申ス迄モナイノデアリマス、是ハ約千三百萬圓内外カト思ヒ
マスルガ、同時ニ刑務所ノ作業費ト云フモノガ……作業收入ナルモノハ約五
六百萬圓ニ上ツテ居ルカト思ヒマスルガ故ニ、實際ノ純國費ナルモノハドノ位
アルカト云フコトハ、調べマシタ上デナイト分ラナイノデアリマス、ソレカ
ラ裁判所ノ費用ト云フモノハ、申上ゲマスル迄モナク、東京トカ、大阪トカ
云フヤウナ大都會ノ裁判所ニ於キマシテハ、刑事部、民事部、明瞭ニ區別ニ
ナツテ居リマスルガ、地方ノ小サナ裁判所ニ行キマシテハ、一ツノ部ニ於キ
マシテ、或ハ單獨ノ判事ニ於キマシテ、刑事モ處理ヲスレバ民事モ處理ヲス
ルト云フ譯デゴザイマスルガ故ニ、ドレダケガ刑事ノ費用デ、ドレダケガ民
事ノ費用デアルカト云フコトヲ區分スルコトハ、極メテムヅカシイカト思フ
ノデアリマス、ソレカラ警察ノ費用デアリマスルガ、是亦、極メテ犯罪處理
ノ爲ニ要スル警察ノ費用ト云フモノヲ明確ニ區分スルト云フコトハ、容易ナ
コトデナイカト思フノデアリマス、所謂司法警察、即チ警察官デ申シマスル
ト、刑事巡查ト云フヤウナモノニ屬シマスル所ノ、専門ノ司法警察官ナルモ
ノガ幾分アリマス、是ハ目下ノ五萬七千ノ司法警察官中デ、漸ク三千人ニ達
シマスルカ達シナイカ位デアラウト思ヒマスルガ、犯罪ノ處理ニ當リマスル
モノハ、此三千内外ノ者ダケデ當ルカト申シマスルト、決シテサウデナイノ
デアリマシテ、五萬七千人ノ警察官ハ、隨時必要ガ起リマシタ場合ニ於キマシ
テハ、或ハ其現行犯デアルト非現行犯デアルトヲ問ハズ、處理ニ當リマスル
ノデ、之ヲ明確ニ區分スルコトハ難イノデアリマス、サリトテ、然ラバ警察
費全部ガ、是ガ犯罪ノ處理ノ爲ニ要スル費用デアルカト申シマスルト、申ス
迄モナク警察ノ任務ハ所謂行政警察、犯罪處理ニ關スル以外ノ事項ヲ多々ヤッ
テ居ルノデアリマス、丁度、只今御述ベニナリマシタヤウナ趣旨デ計數ヲ出

シマスルコトハ、容易デナイト思ヒマスルノデ、實ハ御答ヲスルノヲ差控ヘ
タ次第ナンデアリマス、併ナガラ御趣意ニ副ヒマスルヤウナ數字ガ出來ルモ
ノデアリマスカ、如何デアリマスルカ、十分考究シタ上デ、若シ出來マスルコ
トデアリマスルナラバ、他日更ニ申上ゲルコトニ致シタイト思フノデアリマ
ス、ソレカラ判決ノ理由ノ問題デアリマスガ、是亦、考究ヲ要スルコトト思
フノデアリマスルガ、成程憲法ノ條項ニ、裁判ノ判決及對審ハ公開ヲスルト
云フコトニナツテ居リマスルノデ、公開ヲスベキモノデアルト云フコトハ明白
デアリマス、サリナガラ、同時ニ此裁判ノ宣告ヲ爲スニ當リマシテ、裁判長
ガ準由スベキ條項ハ、刑事訴訟法ニ決マツテ居リマシテ、其刑事訴訟法ニハ、
從前ノ刑事訴訟法ト其趣旨ニ於テ多少改正ガ加ヘラレマシテ、是ハ多分花井
君ガ主トシテ御關係ニナリマシタ改正法律デアラウト思ヒマスルガ、其法律
ニハ、裁判ノ宣告ハ主トシテ此主文ト理由ノ朗讀ヲ爲ス、同時ニ又主文ノ朗
讀ト同時ニ理由ノ要旨ダケヲ告ゲテモ、ソレデモ宜シイト云フコトニナツテ居
リマスノデ、多分其趣旨ニ於テ大審院ニ於テハ要旨ダケヲ告ゲ、而シテ其要
旨ダケヲ公開シタコトト思フノデアリマス、而シテ此趣旨ハドウ云フ趣旨デ、
要旨ダケニ止メタカ、或ハ多少公開スルノニ治安秩序ヲ害スルガ如キ文句デ
モアルト云フヤウナ趣旨デサウシタノデアリマスルカ、ソコイラハ分リマセ
ヌガ、兎ニ角今日マデ大審院ガ爲シマシタコトハ、主文ト理由ノ要旨ト云フ
モノダケハ宣告イタシテ居ルノデアリマスガ故ニ、其趣旨ヲ無視イタシマシ
テ、行政部ニ於キマシテ全文ヲ……裁判所ガヤリマスルナラバ是ハ無論一向
異存ノナイコトデアリマスルガ、行政部デ裁判所ノ爲シマシタル從來ノ行爲
ニ對シマシテ、進ンデ行政部ガ之ヲ公示スベキモノデアルヤ否ヤト云フコト
ハ、多少考究ヲ要スルコトト思フノデ、ソレデ今日マデ大審院ガヤリマシタ
コトナラバ、何時デモ……是ハ實ハ大要ヲ盡シテ居ルノデアリマスガ、此處
デ提示ヲ致シマシテモ差支ナイト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス
○花井卓藏君 私ガ犯罪ノ費用ヲ數字のニ御説明ヲ煩ハシマシタ所以ハ、政
府並ニ列席ノ同僚諸君ニ、此問題ニ關シテ深キ考慮ヲ拂ハレンコトヲ欲シタ

ガ爲デアリマス、實ニ莫大ナル負擔デアルノデアリマス、是ヨリ増スコトハ
アツテモ減ズルコトノナイ費用デアリマス、國家ノ爲ニハ何等ノ益ヲ此負擔ノ
爲ニ受クルコトハナイノデアリマス、今日犯罪防遏ニ關スル有ラユル政策ヲ
諸國ガ講ジテ居リマスノモ、其負擔ノ問題、良民ノ負擔ヲ減ズルコト云フコトニ
出發イタシテ居ルノデアリマス、汝罪無キノ故ヲ以テ罪有ルノ人ヲ養フベキ
義務アリト云フガ如キコトヲ、人ヲシテ思ハシメナイヤウニ努メナケレバナ
ラスノデアリマス、茲ニ於キマシテ、此刑事的統計ト云フモノハ諸國殊ニ意
ヲ注イデ居ルノデアリマス、犯罪ノ搜查ニ付テハ警察費ト云フモノガアル、
此警察費ト云フモノハ諸般ノ關係ヲ持ッテ居ル、併ナガラ犯罪搜查ニ費スベキ
モノトシテハ大體ノ計算トシテ此數字ヲ見ル、裁判所デハ民刑二ツナガラノ
裁判ヲスルノデアアルガ、刑事ノ裁判ヲスルニ付テハ大體是程ノ數字ヲ見ル、
刑務所ノ費用ハモウ勿論ノコトデアリマス、サウシテ完全ナル數字の調査ヲ
遂ゲ、考究ヲ遂ゲテ、成程是デハ國民ニ對シテ如何ニモ氣ノ毒デアルカラシ
テ、負擔ノ途ヲ、對策、施設ノ上ニモ求メスケレバナラスト云フコトノ研究
ヲ致シテ居ルノデアリマス、熱心ナル江木君ガ、此豫算ヲ作ル上ニ於テ、警
察費トシテモ裁判所費トシテモ、此分界ト云フモノヲ劃スル事柄ガ甚ダ困難
デアルト云フヤウナコトヲ申サレテハ、實際問題トシテノ司法的的重大ノ仕事
ニ、餘リ努力ヲ御拂ヒニナッテ居ラスヤウナ感ガアリマスノデアリマス、今
少シ御勉強ナサラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ此數字ノ研究ハ、豫算委員
會ニ於テデモ宜シウゴザイマスカラシテ、仔細ニ御示シテ願ヒタイ、私自ラ
考ヘテ居リマスルニ、單ニ裁判所費、刑務所費、警察費ト云フガ如キモノバ
カリニ止マラズ、犯罪ニ伴ウテ生ズル所ノ國家的負擔、而シテ又國民自身ガ
個人的ニ負擔スルモノヲ計上シテ見マスルト、莫大ナルモノニナル、是等ノ
研究ハ疎カニセラレナイヤウニ、私ハ衷心カラ望マザルヲ得ナイノデアアル、
國民ヲ本位トスル政治デアアル、國民生活ニ即スル政治デアアル、犯人ハ國民デ
アル、費用ノ負擔者モ國民デアアル、司法當局ハ此仕事ヲ閑却シテ他ニ何モ仕
事ハ無イト信ズルノデアリマス、御勉強ヲ願ヒマス、ソレカラ尙ホ判決公開

ニ付キマシテノ御意見ヲ承リマシタガ、是ハ御考究ヲ煩ハスマデモナク、能
ク分ッテ居ルノデアリマス、憲法ハ判決ノ公開ヲ規定シ、刑事訴訟法ハ判決
ノ公開ヲ制限イタシテ居ラスノデアリマス、刑事訴訟法ハ江木君申サル、通
リ、本員確カニ責任者ノ一人デアリマス、主文ヲ朗讀シ、要旨ヲ告グルト云
フコトガ、規定ニ確カニアルノデアリマス、判決ノ全文ヲ讀マナイデモ宜シ
イ、被告人ニ向ッテハ主文ヲ朗讀シテ、其主文ノ刑ニ處シタル理由ガ大體分
ルヤウニ説キ明カセバ宜シイト云フ規定デアアル、此刑事訴訟法ノ規定ヲ以テ
憲法ノ公開ノ規定ヲ動カスナドト云フコトノ出來ヌコトハ當然デアアルカラシ
テ、其意味ヲモ含マレヌト云フコトハ亦當然デアリマスカラ、此邊モ一層御
勉強ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 花井君ニ御尋ヲ致シタイト存ジマス、内務大臣臨
時代理ハ只今衆議院ニ出席セラレマシテ、本院ニ出席スルコトガ出來ナイサ
ウデゴザイマスガ、先刻ノ花井君ノ御質疑ニ對スル答辯ハ、鈴木政府委員……
内務省參與官ヲシテデハ御満足ヲ與フルコトハ出來マスマイカ

○花井卓藏君 満足イタシマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 然ル上ハ他日ノ機會ニ内務大臣臨時代理ノ答辯ヲ
求ムルコトニ致シマス、是ニテ質疑ノ通告者ハ終リマシタ

○伯爵林博太郎君 只今議題ニナッテ居リマスル昭和二年度歳入歳出總豫算
案並各特別會計豫算案、竝ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要ス
ル件、右ノ審査期限ハ本日ヨリ二十一日間トシ、即チ三月七日マデトスル動
議ヲ提出イタシマス、ドウゾ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ豫算審査期限ニ關スル動議ニ同意ノ諸君
ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、次ノ日程ハ決定次第御通知ニ
及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス

午後三時四十八分散會

